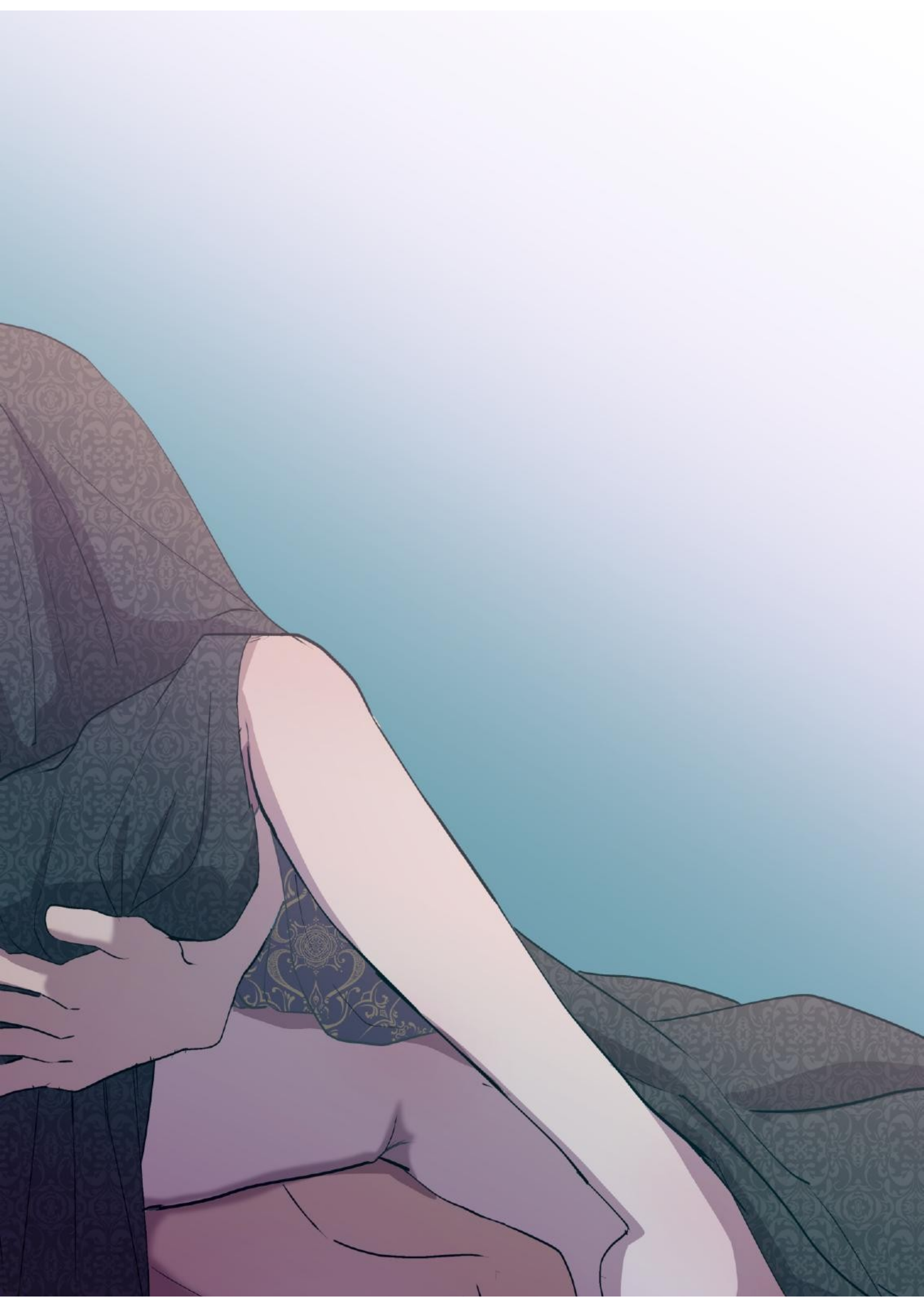


フルカラー  
79P

DOJIN  
R18  
ADULT ONLY

嫁<sup>き</sup>遅<sup>ち</sup>れ  
村娘は  
神父様<sup>の</sup>溺愛<sup>から</sup>  
逃<sup>に</sup>げ<sup>ら</sup>れ<sup>な</sup>い



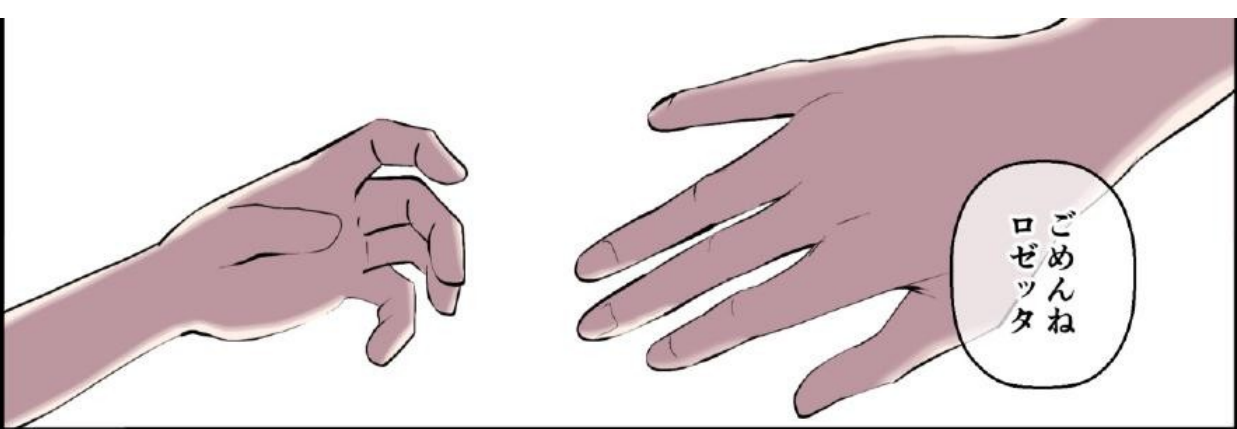


こんたみ  
**混萌nation Presents**

**転載禁止**  
DO NOT REPOST

無断転載・複製・複写  
Web上へのアップロード禁止

**DOJIN**  
**R18**  
ADULT ONLY



ごめんね  
ロゼッタ



親に  
捨てられた子  
ですって？

大丈夫なの？

こんなに  
気難しい子だとは  
思わなかったわ

女の子は  
いららないわ

うちだと少し  
扱いずらくて…



ロジー！

お前また  
戻ってきた  
のかよ！

あはは  
ははは

うるさいわね！  
ドゴ！丸焼きに  
するわよ！

私なんて

どうせ…

サ  
ク  
リ



シスター



大丈夫よ  
ロジィ



あなただけを  
愛してくれる  
人が迎えに来るわ



あなたにも  
いつかきつと



だから  
それまで  
ここで一緒に  
待っていきましょう

そう言い聞かせて  
くれたシスターは

数ヶ月前に  
この世を去った

私に残されたのは

村外れにある  
この小さな教会と

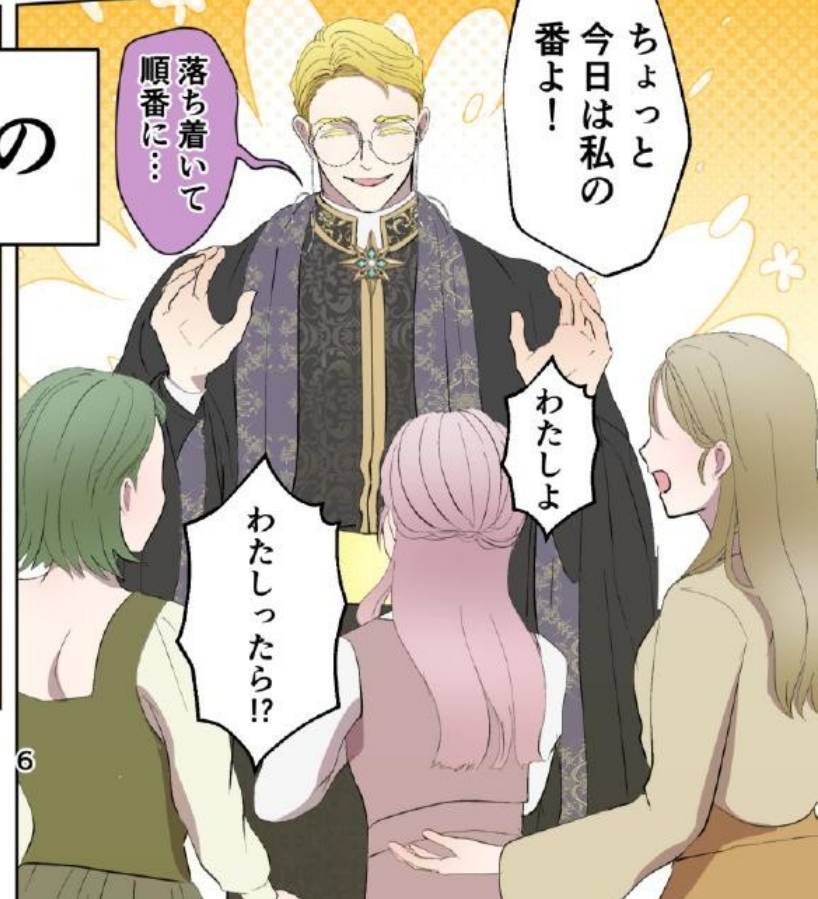
生計を立てる  
ために必要な  
薬草の知識



できた

神父様〜!

それから――

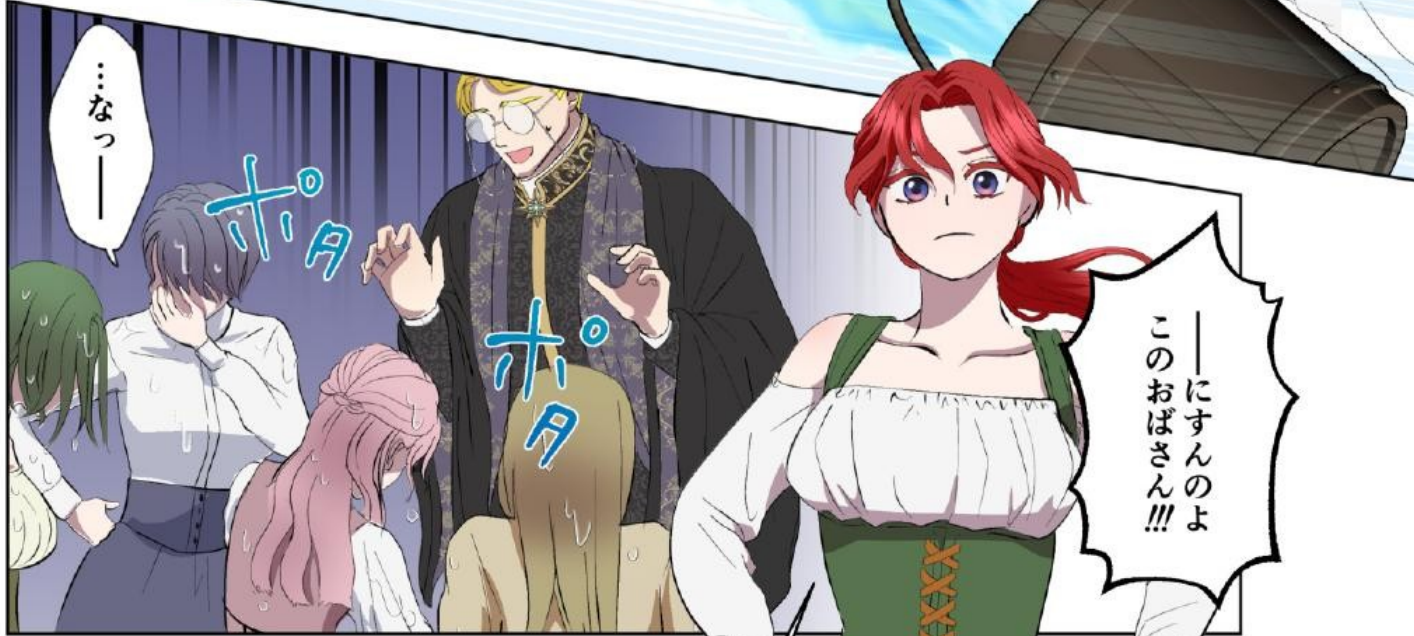




お世話係  
である

しなさい!!!

きゃあ!



—にすんのよ  
このお婆さん!!!

…なっ—

ホタ  
ホタ



貴方たちこそ!

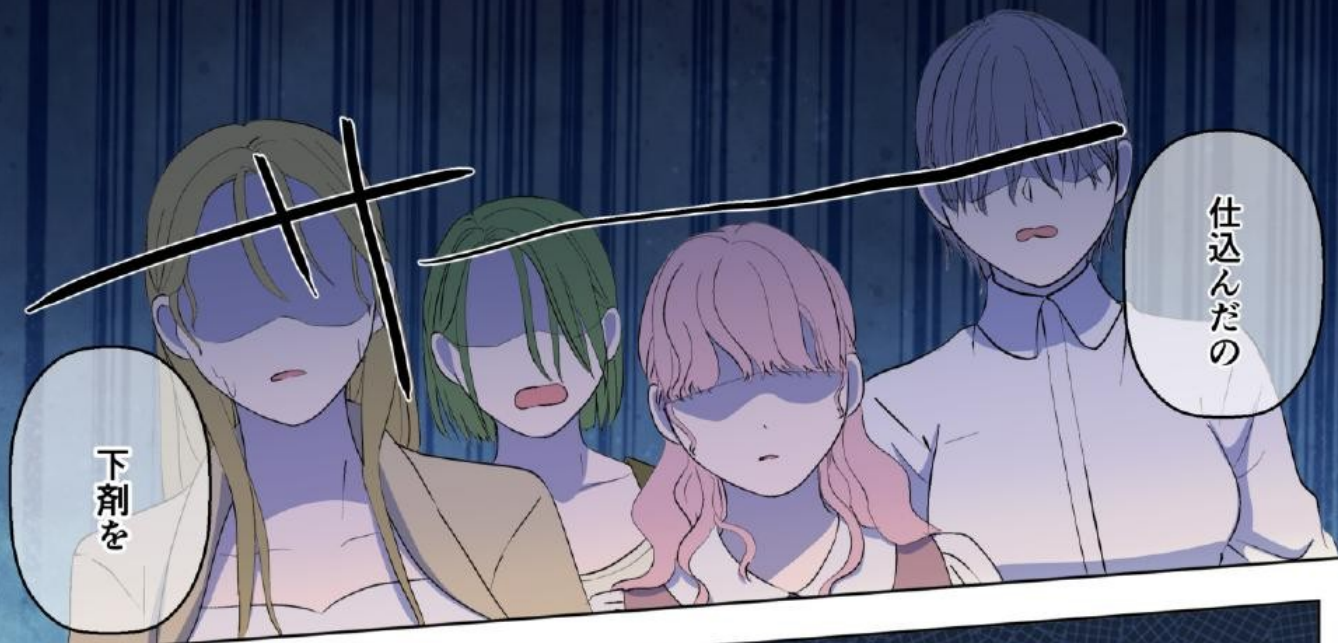
あの、  
みなさん…  
いつもいつも!

何よ!  
私たちは  
ちゃんと…  
ん?



何よこの水…  
ヤケに  
しょっぱい  
わね…

気付いた?



仕込んだの

下剤を



体の老廃物を  
三日かけて  
体外へ輩出  
するのよ

美容と  
ダイエットに

効果的

素敵でしょう？



あの  
ロゼッタ？

張り合い  
ないわね…

本当ですか？  
さっきの…



もしよかったら  
ご家族の分も  
用意するけ…

あら？



なんだ…

よかった

もちろん  
冗談ですよ

本物は  
これだけ



ノア・  
ヴァレンタイン

これだ  
もんね…

私のせいで  
貴方に迷惑が  
かかるのは  
悲しいですから



はじめは  
その洗練された  
容姿と佇まいで  
人々を萎縮  
させていたが

いや悪魔かも  
しれん

人か？  
天使か？



数ヶ月前

シスターの  
後任です

シスターが  
亡くなって  
数日後

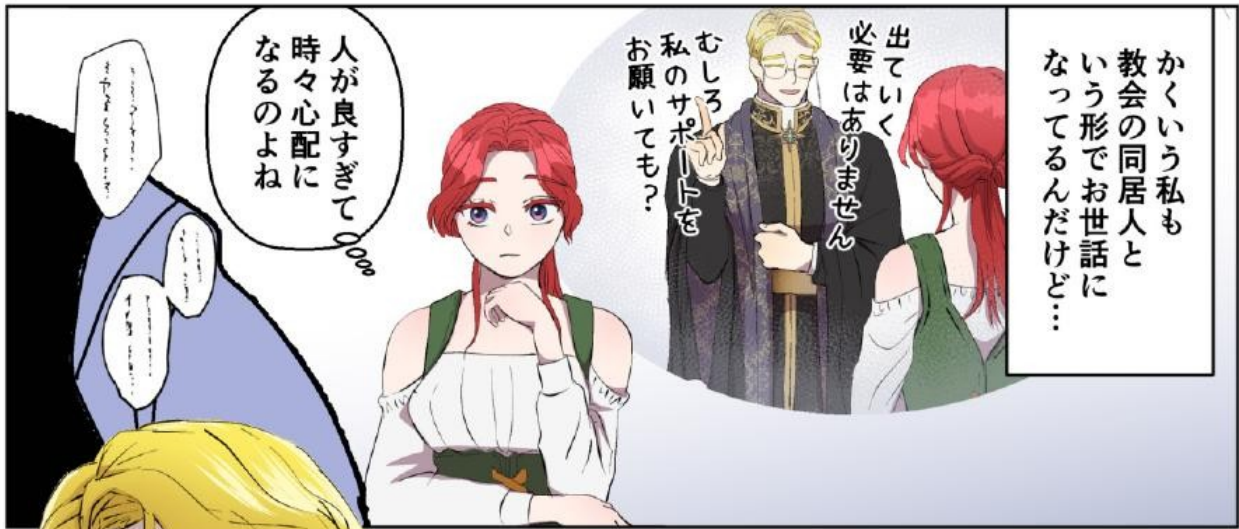
新しく  
赴任してきた  
神父様だ

えっ  
もう?!  
この雪は!?



今では  
この有様である

あっ  
また人集りが!



かくいう私も  
教会の同居人と  
いう形でお世話に  
なってるんだけど...

出ていく  
必要はありません

むしろ  
私のサポートを  
お願いしても?

人が良すぎて  
時々心配に  
なるのよね

あー、そうなんですか？  
私も心配です。



媚薬?



そろそろ  
アレが出回る  
時期だし

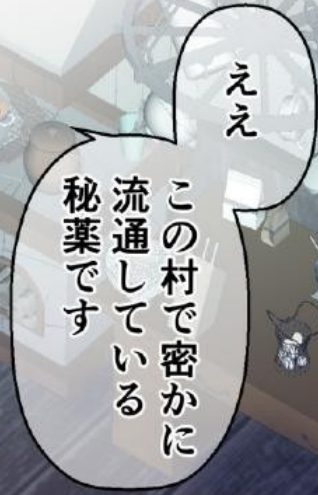
一応忠告  
しておくか



神父様にも  
一応忠告を



毎年それで  
意中の相手と  
既成事実を  
作ろうとする人が  
出ますから



ええ

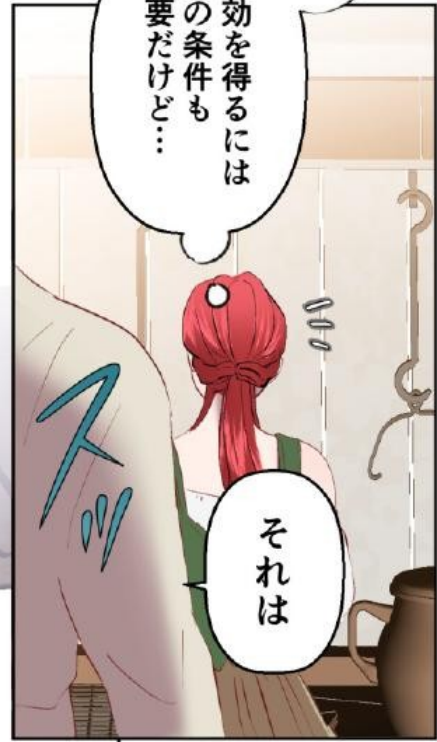
この村で密かに  
流通している  
秘薬です



アッ



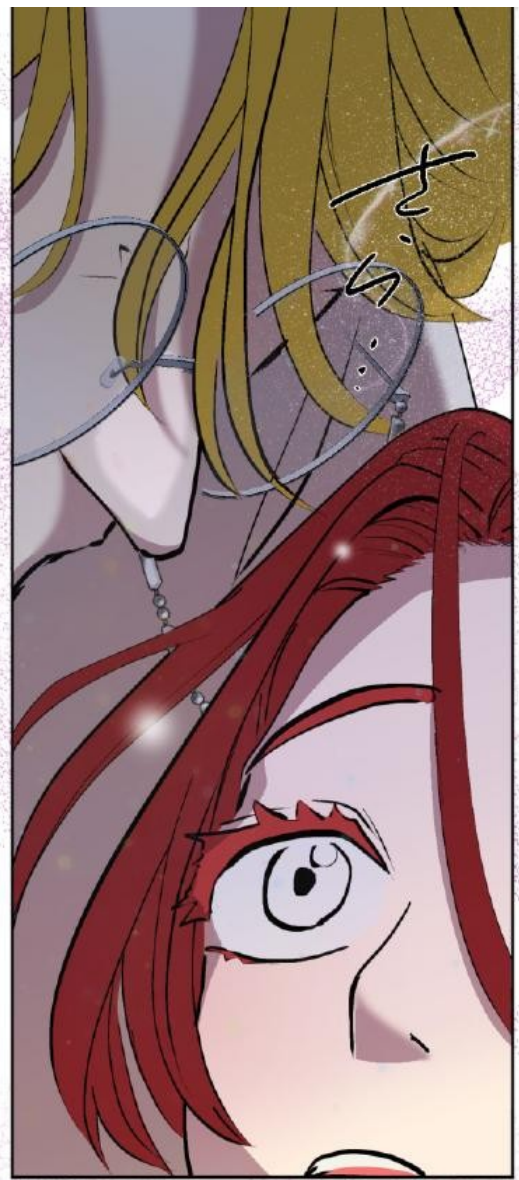
貴方にも  
ご経験が？



まあ

薬効を得るには  
他の条件も  
必要だけど…

それは







恋愛草！

好きな相手を  
前にしないと  
発揮されないからだ



薬草の発見は  
偶然だった  
けど

え？  
森で怪我をした  
男女の様子が  
おかしい？

あっ  
好きいっ  
ほん  
ウイルう！  
好きい

今では  
相手の気持ちを  
確かめたい  
カップルや

ほん

マンネリぎみの  
夫婦の間なんかで  
使われる

俺も好きっ  
好き  
愛してる  
エミリア  
うっ！  
ほん



私みたいな  
色恋と  
無縁の人には

全く効かない  
んだけど…

神父様は  
そうとも  
限らないから—



—逆に言うと



悪い女ヒドが寄って  
こないように  
注意しないと



もっさり



こんなもんかな



帰って  
消毒を…



気づかないうちに  
薬草の葉っぱで  
切っちゃったのか



ありや、  
いつの間に…



ロゼッタ？



こういうのは  
ちょっと  
くすぐった  
い

ただの  
かすり傷  
なんですけど...

見せて下さい



神父様!?

なんで  
ここに...

帰りが  
遅いので  
心配で...  
怪我をした  
んですか？

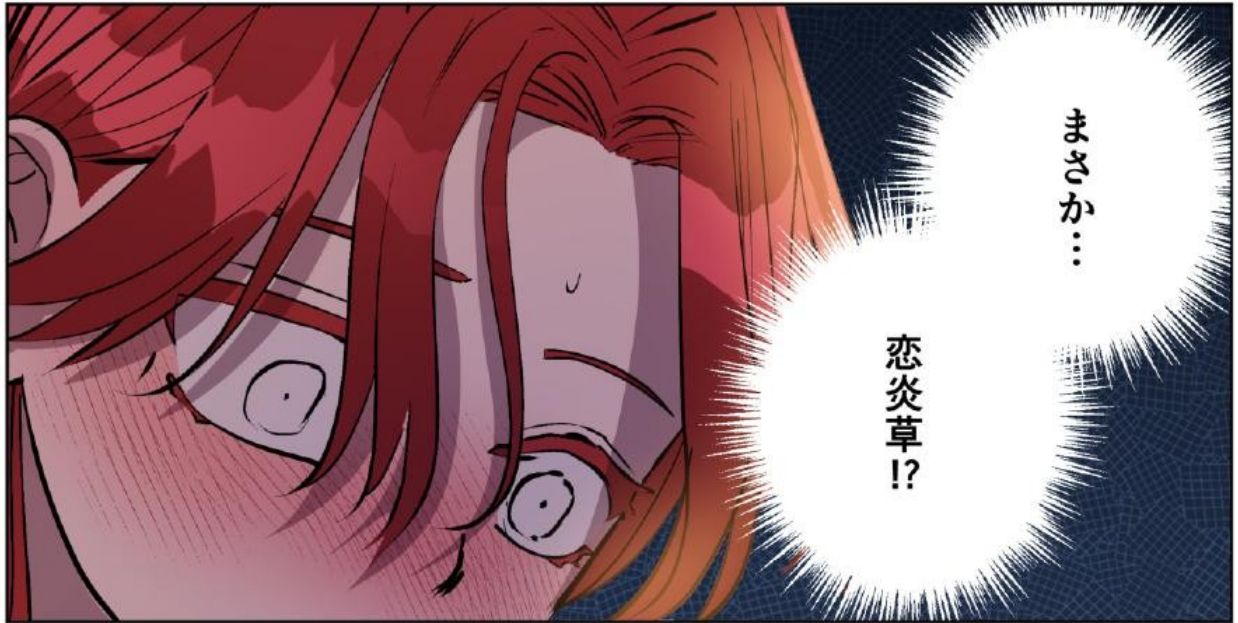


呼吸が…

体が急に  
熱を帯びて

な…に？

？



まさか…

恋炎草!?



そんな…

でも他に  
心当たりは…

ひとまず  
これで  
良いでしょう

でも…



それじゃあ  
まるで私が

さあ立って

あとは  
教会に戻って  
から—

そんな…

ありえない

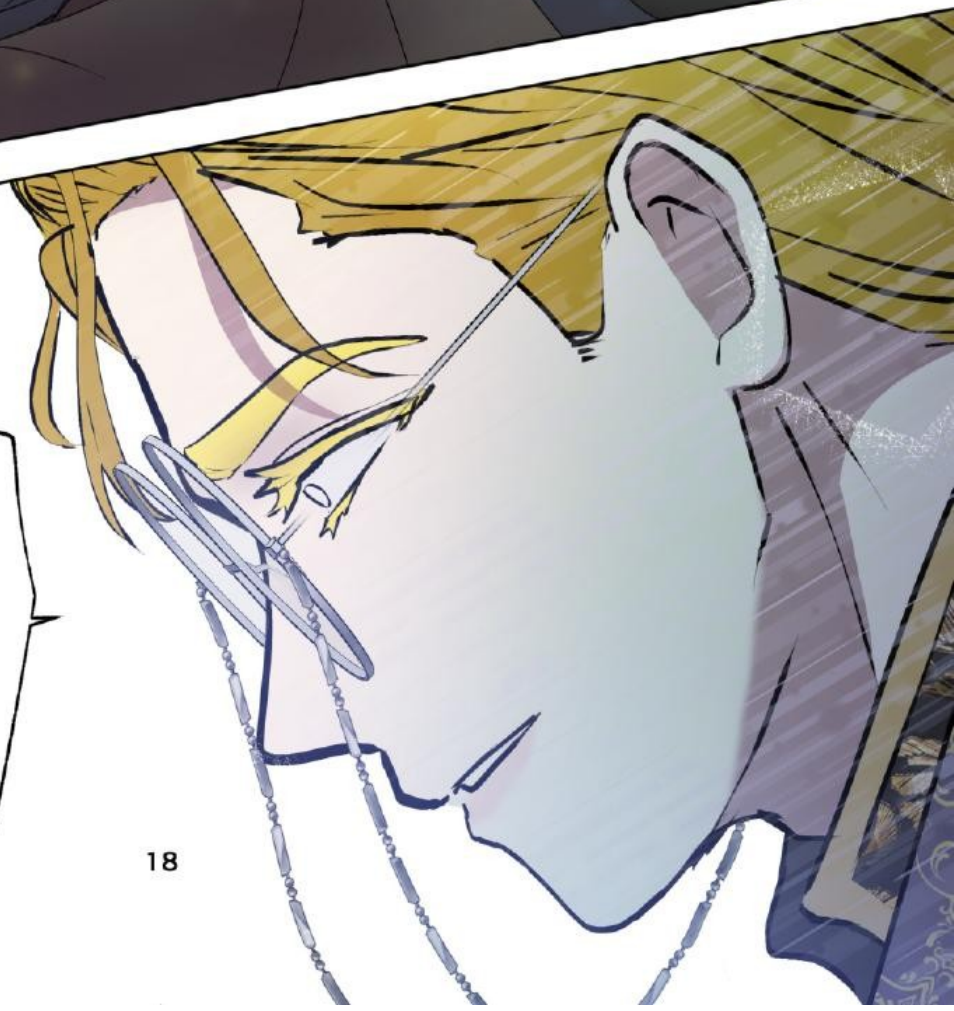
神父様のことを

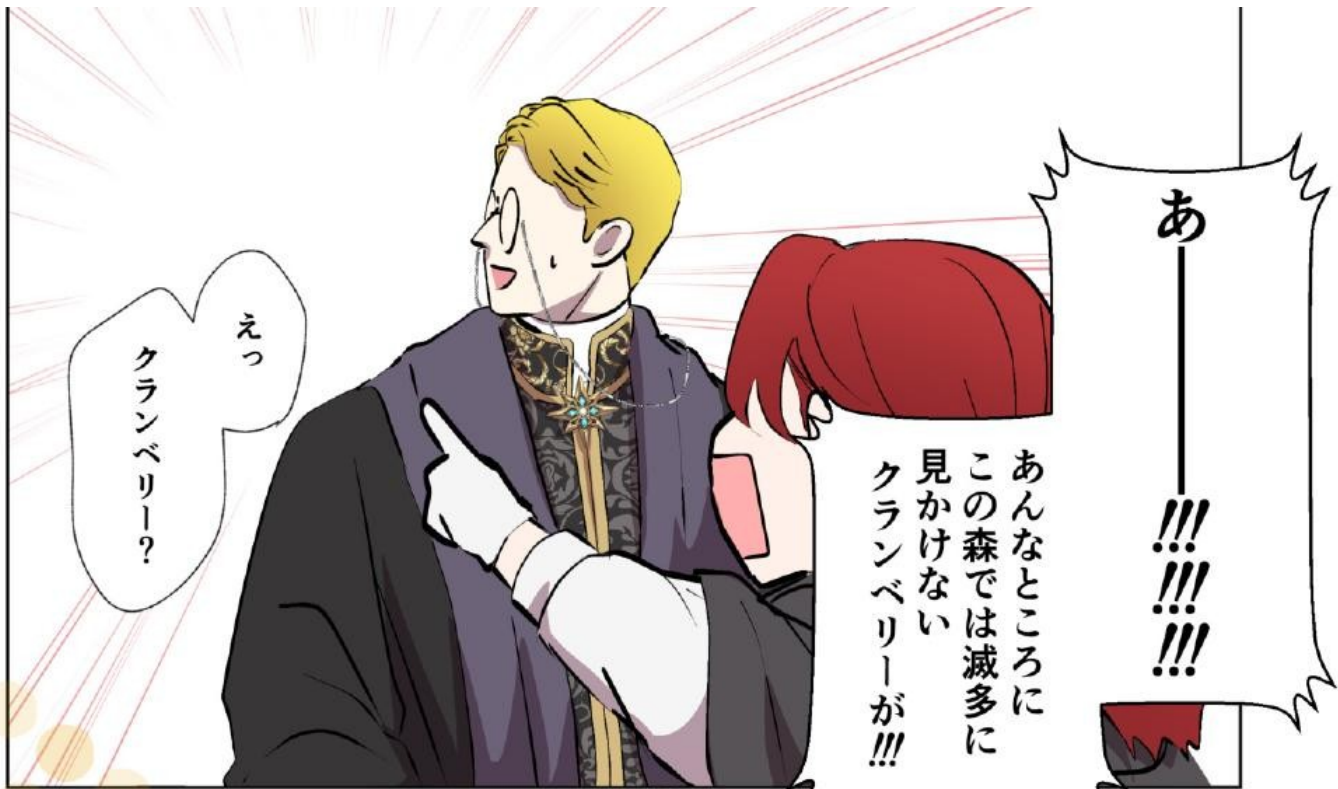


好きみたい——



——  
口…





えっ  
克蘭ベリー？

あんなところに  
この森では滅多に  
見かけない  
克蘭ベリーが!!!

あ  
!!!  
!!!  
!!!



…君すごく  
視力良いんだね  
ロゼッタ

この道を  
まっすぐ30分  
ぐらい歩けば  
ありますから

わかりましたから  
押さないで

か、  
隠し…?  
ってことで  
ちょっと  
採ってきて  
もらえますか？

スープの隠し味に  
ちょうど良いん  
ですよ！





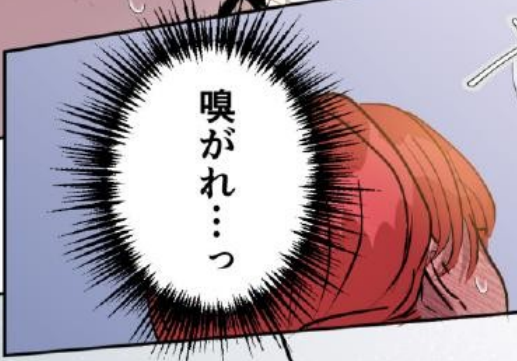


この時期に  
実をつけません

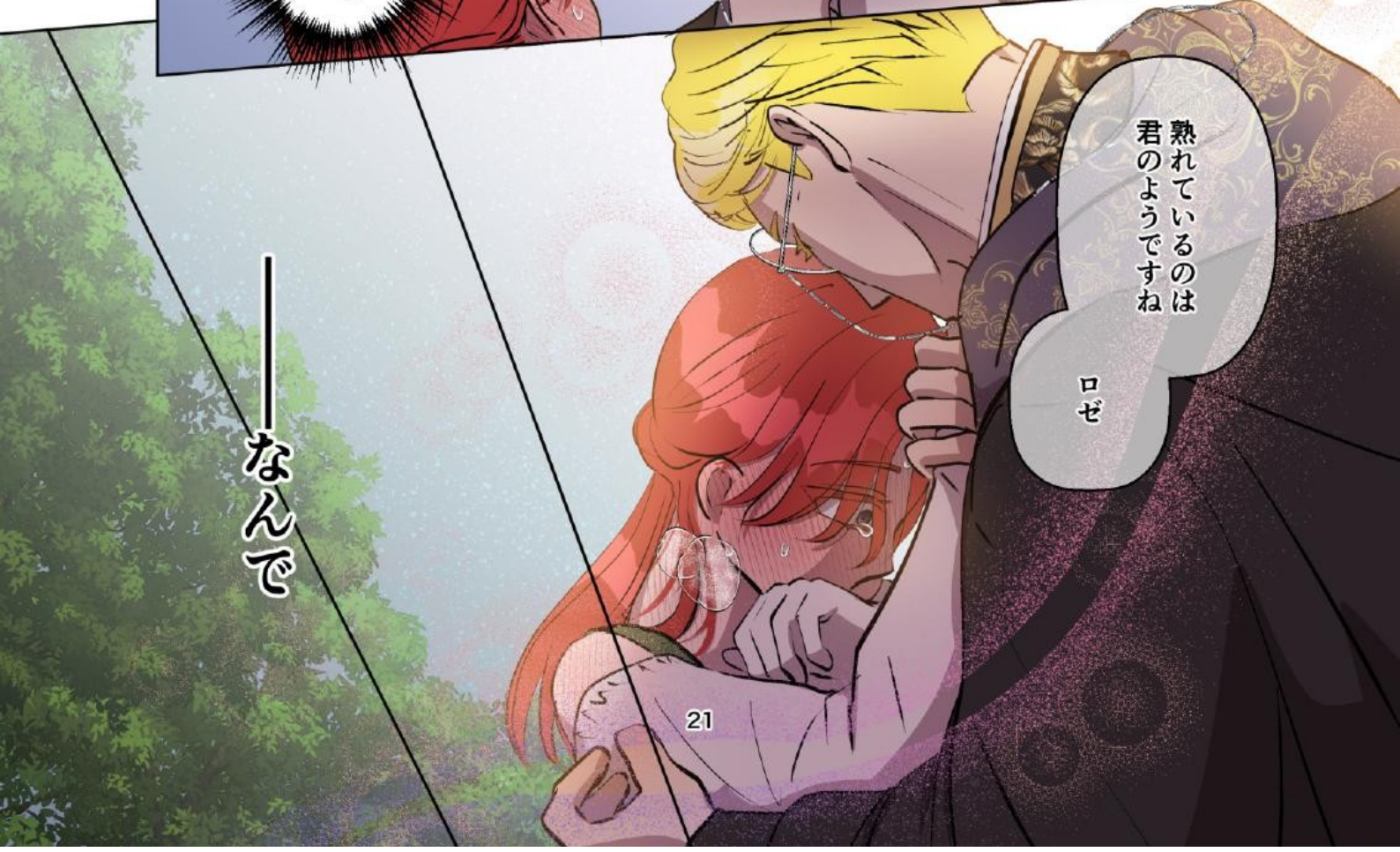
克蘭ベリーは



待っ  
嘘っ



嗅がれ…っ



熟れているのは  
君のようですね  
ロゼ

—  
なんで



こんな

神父様の指っ  
入っ…

ロゼ  
痛みはない  
ですか？

おん…



?

おん



なるほど  
これは…

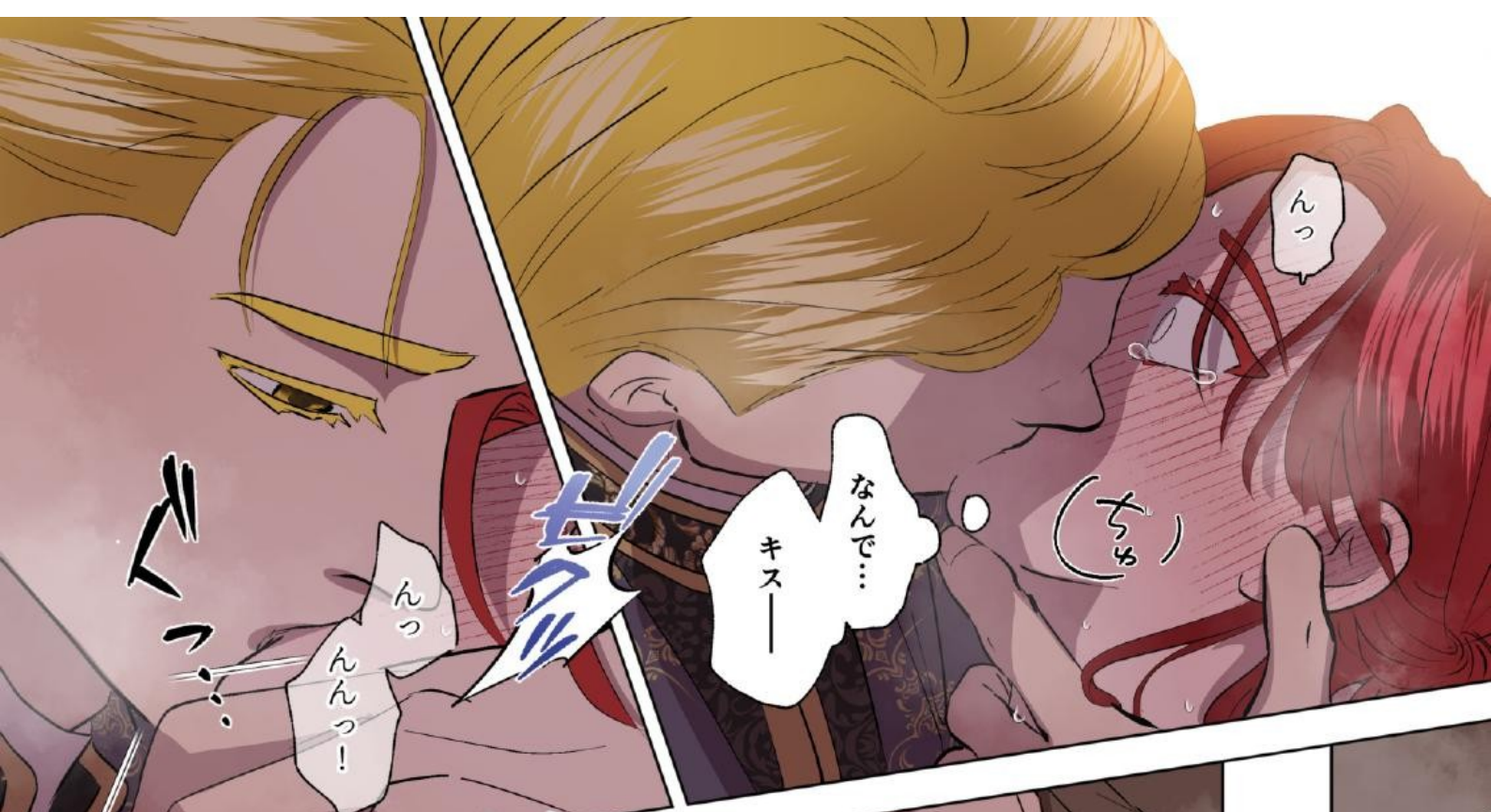


痛みより…  
もっと…

おん

おん

おん



んっ

(ぢゅ)

なんで…

キス—

んっ

んんっ!

指が

やっ

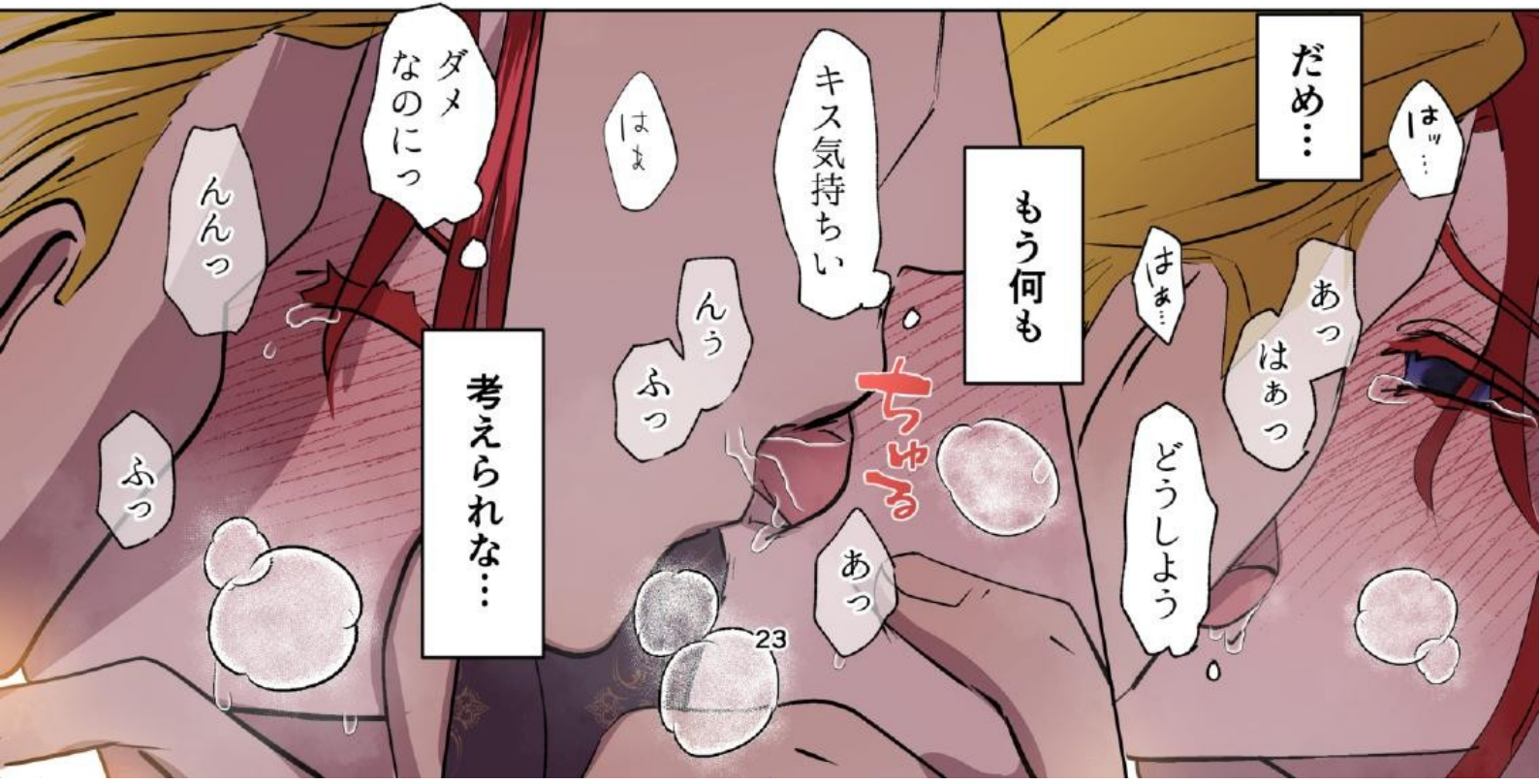
あ…ふっ

ぬるぬる  
ぷるぷる

増え…

んううっ

はま



はま…

だめ…

あっ

はあっ

はま…

どうしよう

もう何も

キス気持ちい

あっ

はま

んう

ふっ

考えられな…

ダメ

なのにつ

んんっ

ふっ

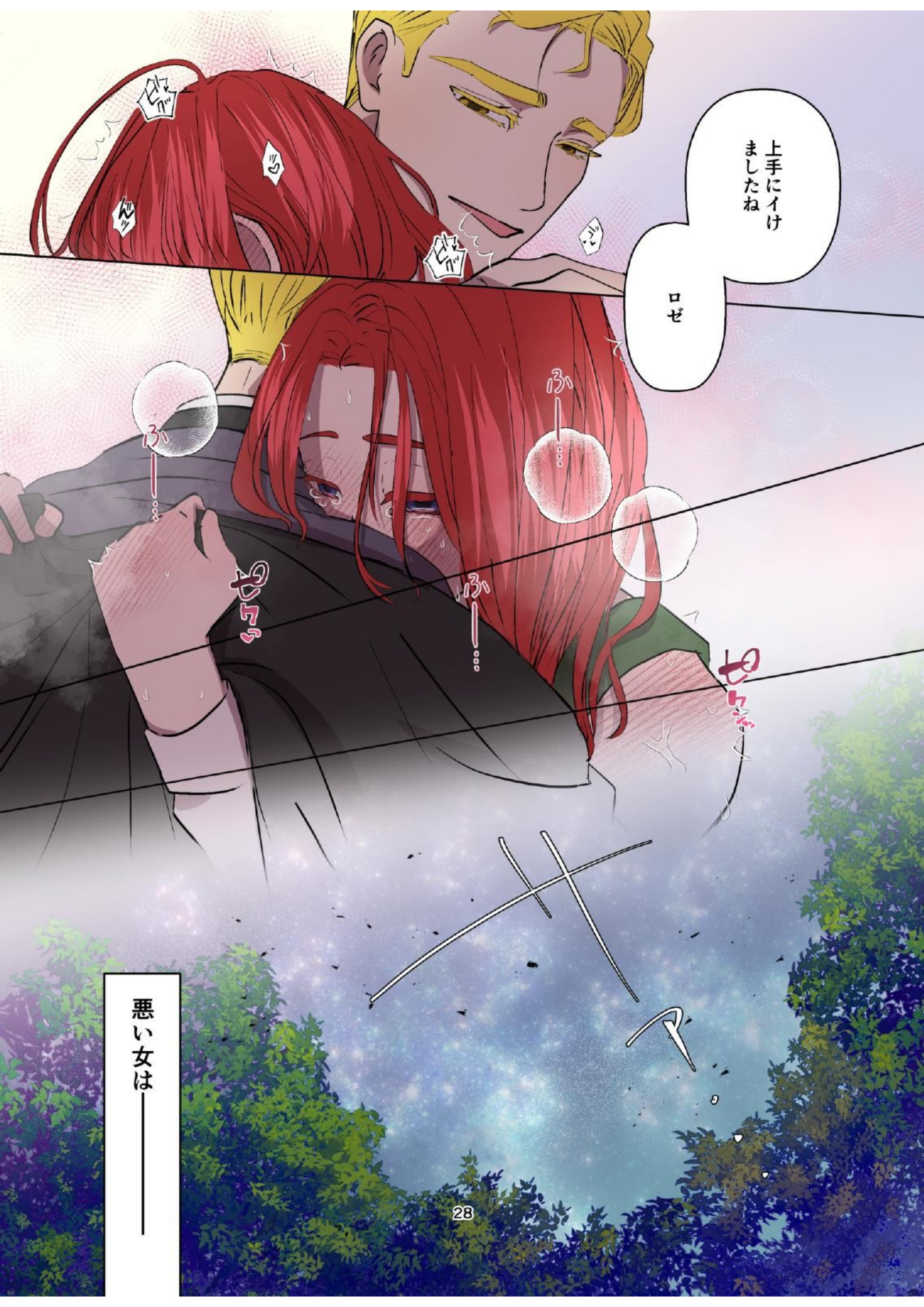
ぢゅる









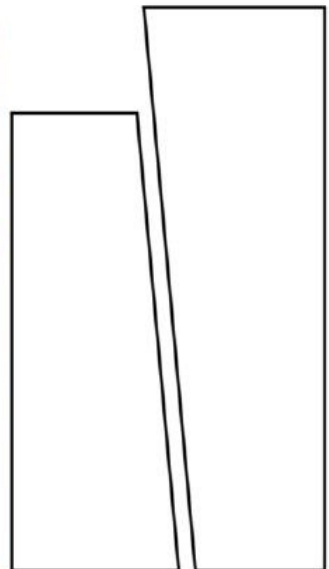
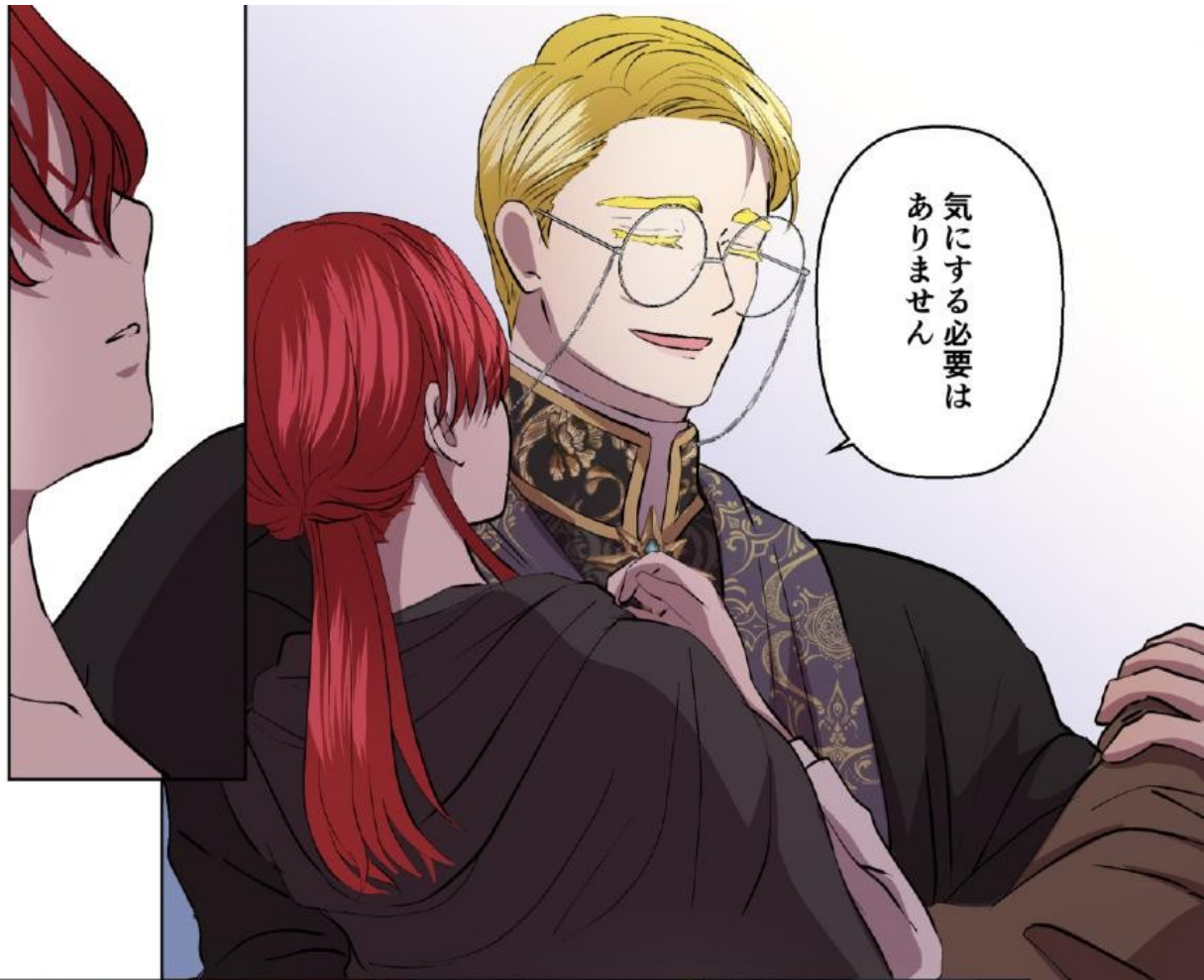
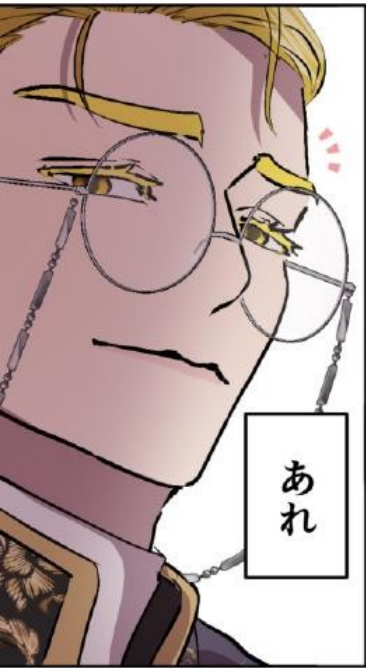


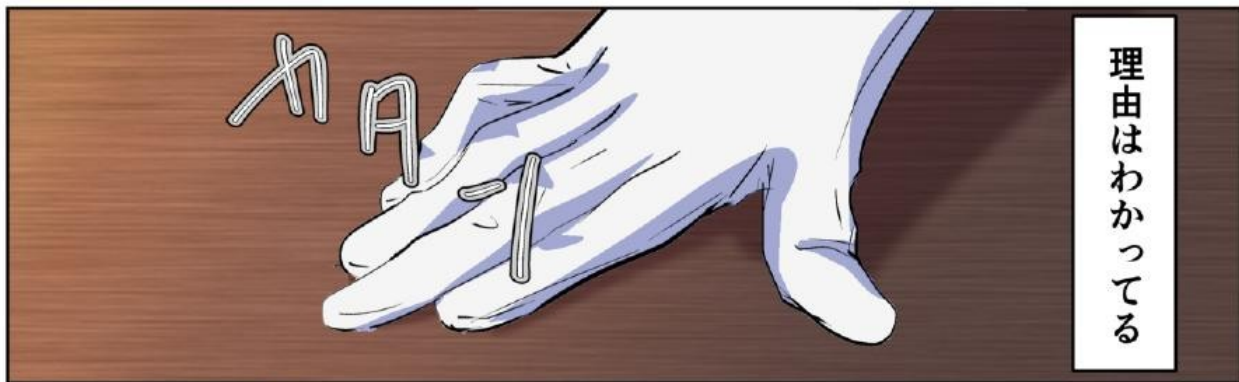
上手にイけ  
ましたね

ロゼ

悪い女は





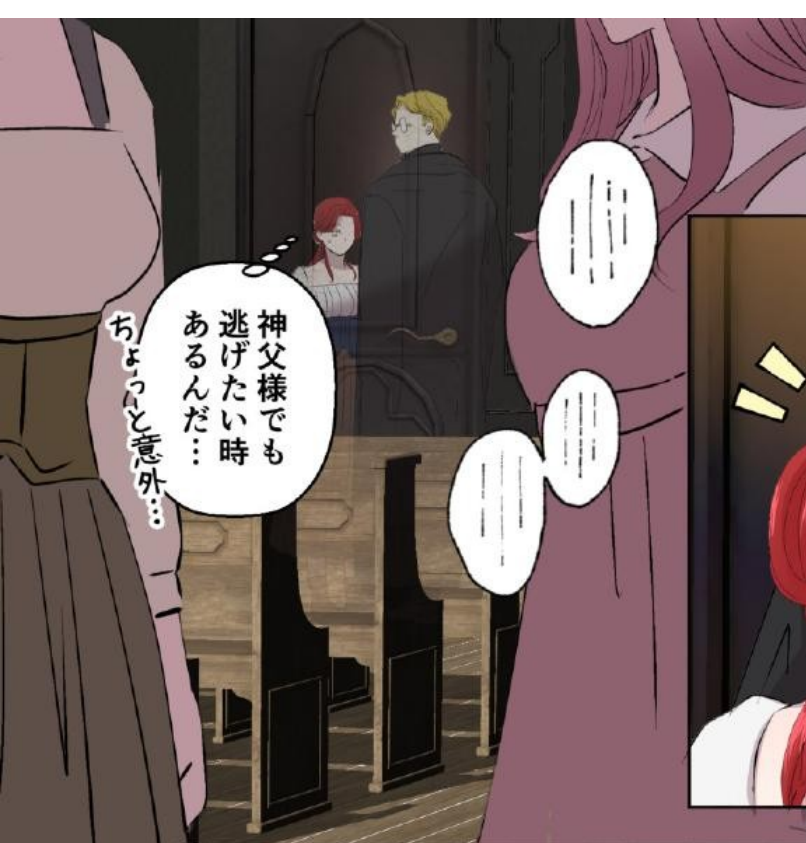






なんでーっ

カッ  
カッ  
神父様?!



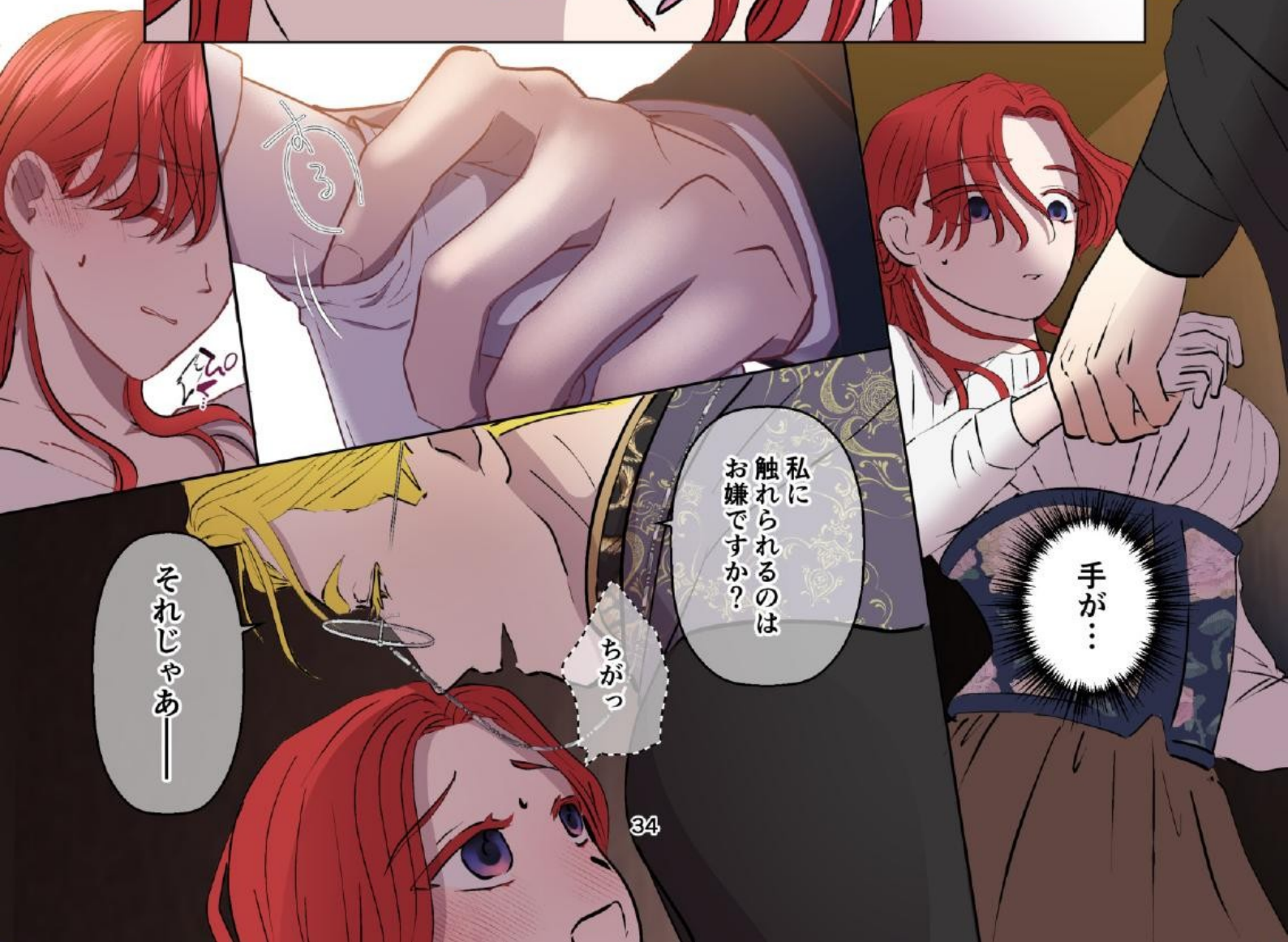
神父様でも  
逃げたい時  
あるんだ…  
ちよんと意外…

……  
……  
……  
……



神父様？

一体どこに  
行ったのかしら？

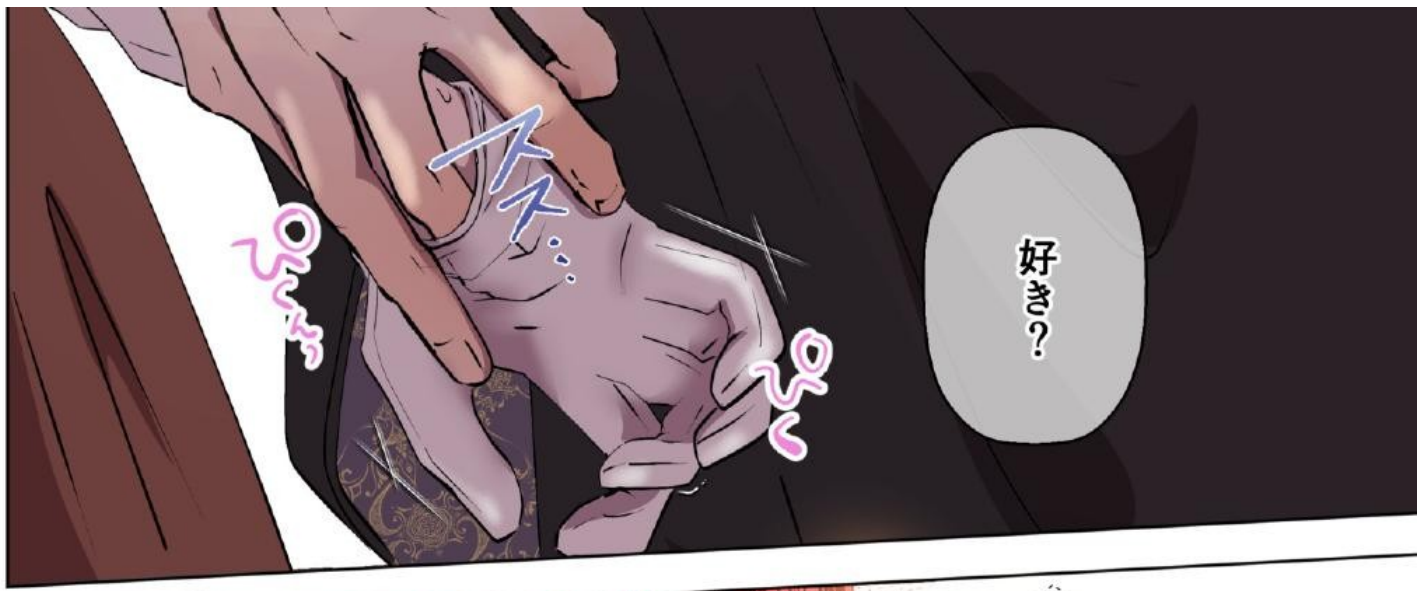


私に  
触られるのは  
お嫌ですか？

手が…

ちがっ

それじゃあ—



好き？

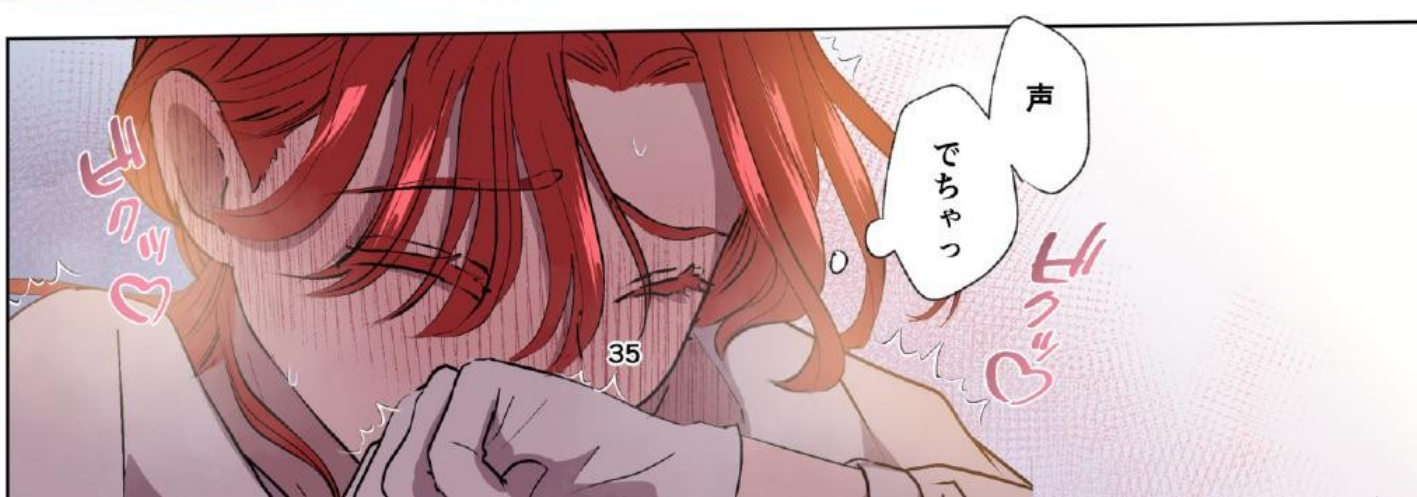


っそんな  
風に  
触られたらっ

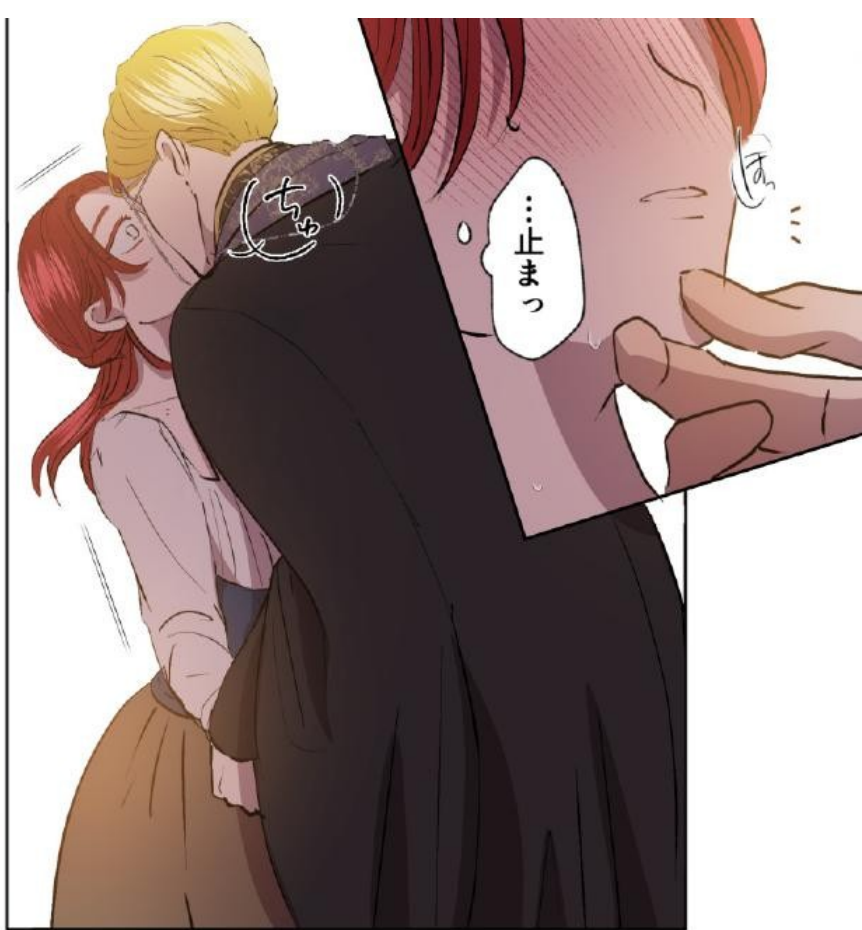
そっ  
れ...はっ



ロゼ？

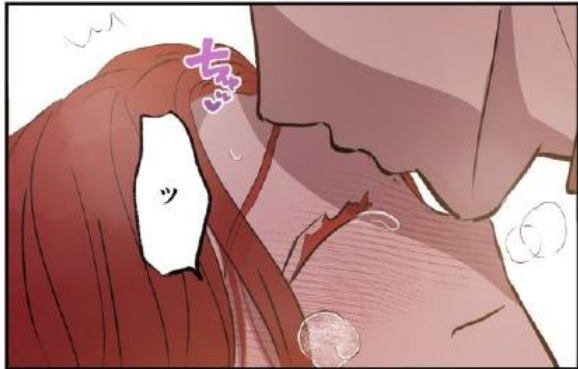


声  
じゅわん  
じゅわん

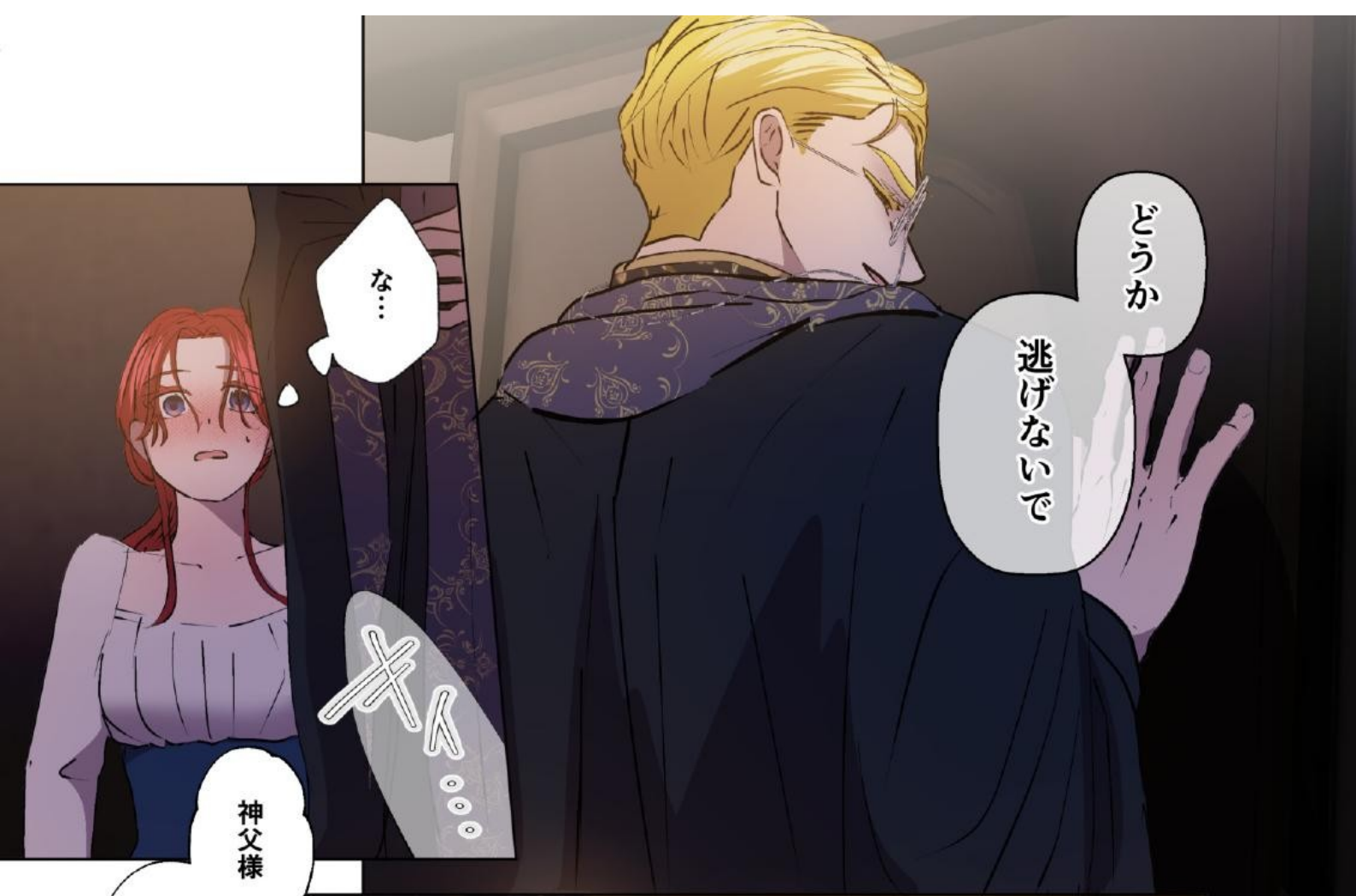




神父様?

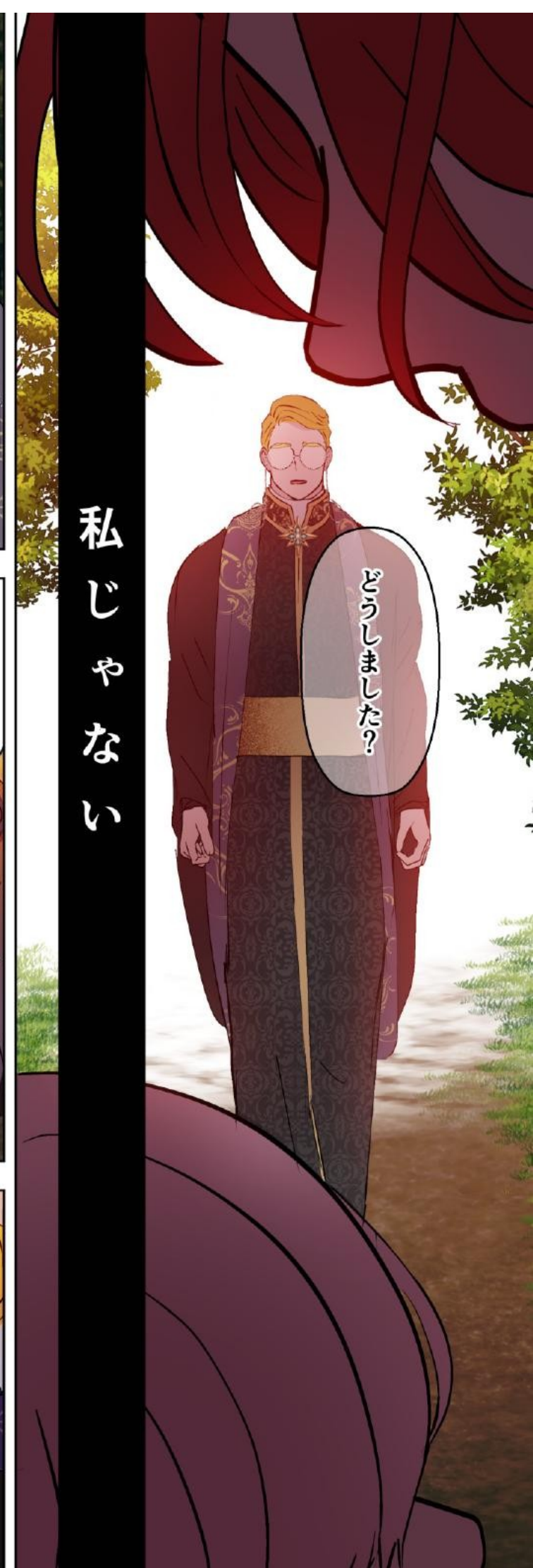
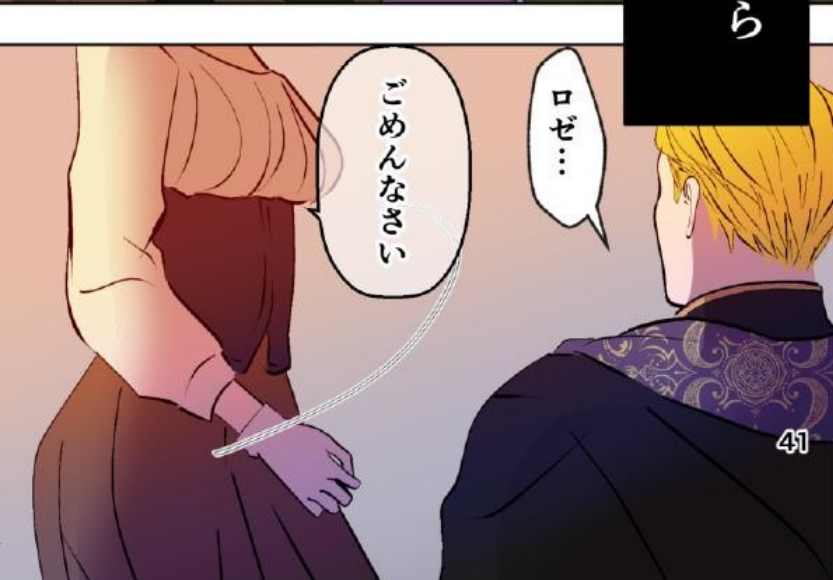


—今晚  
お部屋に  
伺いますので











誰にも  
選ばれない

約束は

守れそうに  
ありません

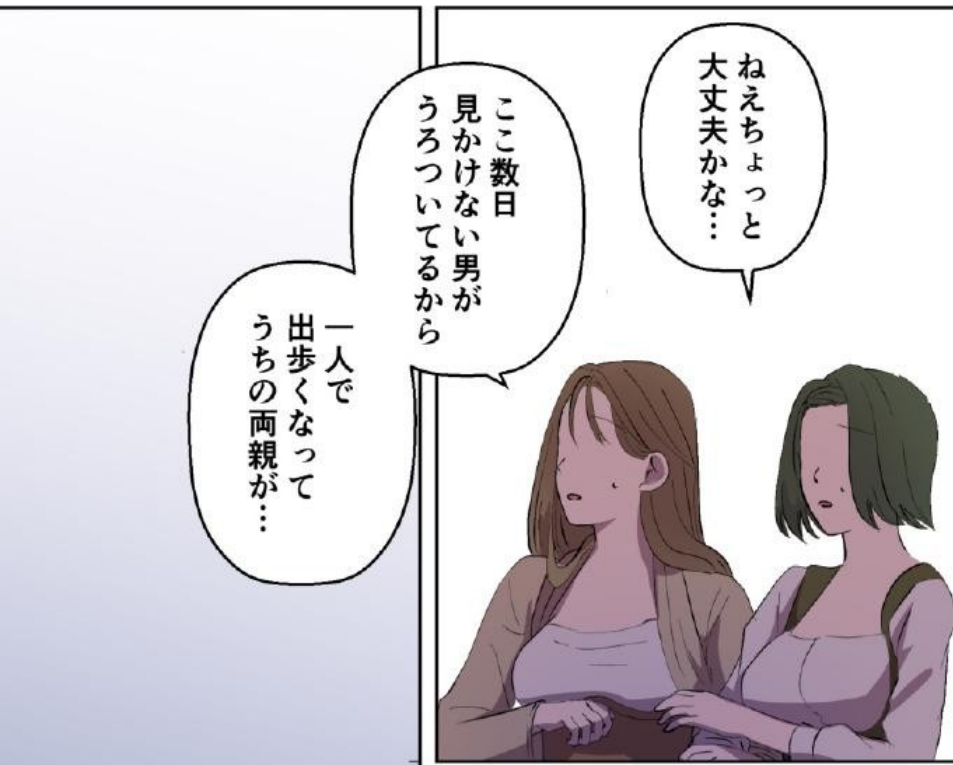


待っ

待って  
下さい！

どうして  
追いかけるん  
ですか？

まさか  
初恋の人が  
彼女だなんて  
言わないです  
よね？！



ねえちよつと  
大丈夫かな…

ここ数日  
見かけない男が  
うろついてるから

一人で  
出歩くなって  
うちの両親が…



すみません

私は…



何なのこの  
舞台錯誤な  
男は…!

いびん



な…



村の人間  
じゃない…

旅人？  
行商？

にしては  
荷物が  
少なすぎる

…

まさかジで  
始まってFで  
終わるメンバーの  
一人じゃない  
わよね…

…

どうしよう  
すぐく  
見てくる

誰か…!



…お前

ロジ…か？



誰かって…  
だれ？

この村に  
私を気にかけて  
くれる人なんて

もう…



その呼び方  
まさか…

ドゴ?

そうだよ!  
俺だよ!

久しぶり  
だなあ!  
元気だったか?!

俺が  
でかくなって  
驚いたろ?

皆びっくり  
すんだぜ

そこ??



なんで  
この村に…?

シスターが  
亡くなったって  
聞いてよお

近くを通った  
ついでに  
寄ってみたんだが

まさか  
お前がまだ  
この村に  
いるとはなあ



私が結婚  
なんて  
できるわけ…

そうか…  
なら

俺と一緒に  
くるか?



で?

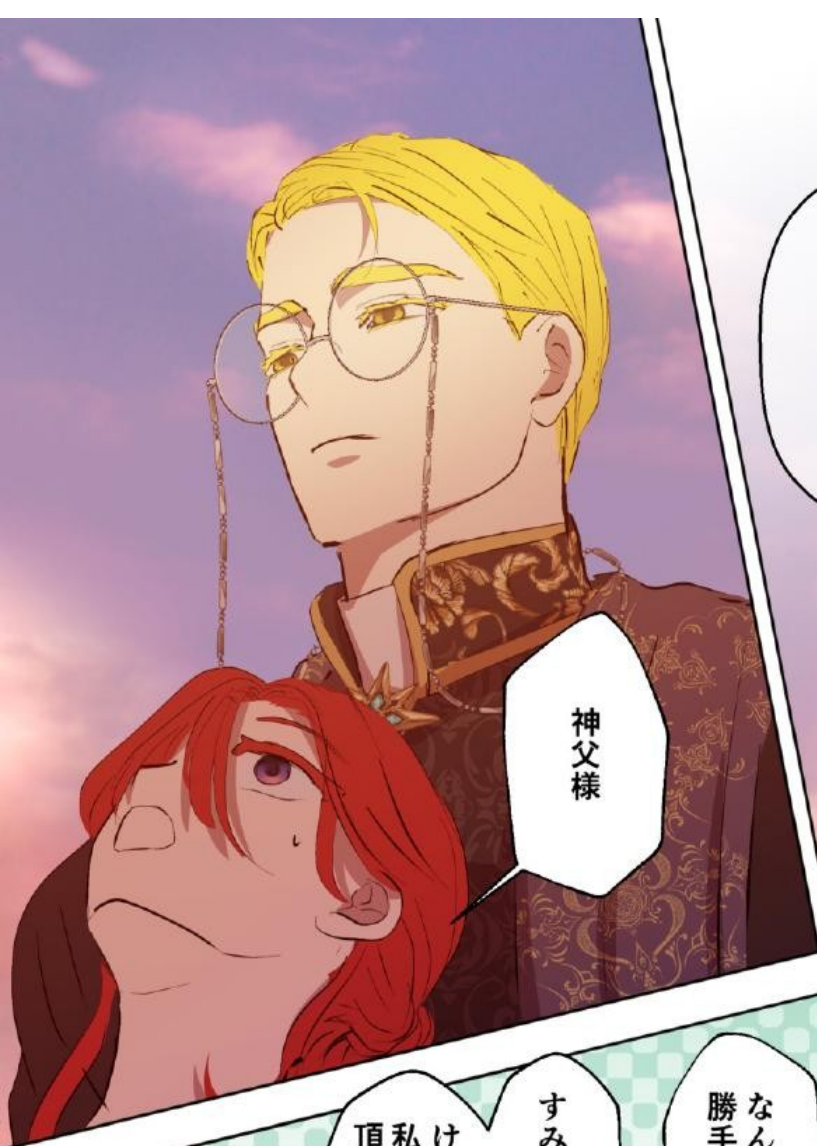
結婚は  
したのか?

子供は?

まだよ

相変わらず  
デリカシーが  
ないわね…





神父様

彼女は  
行きません



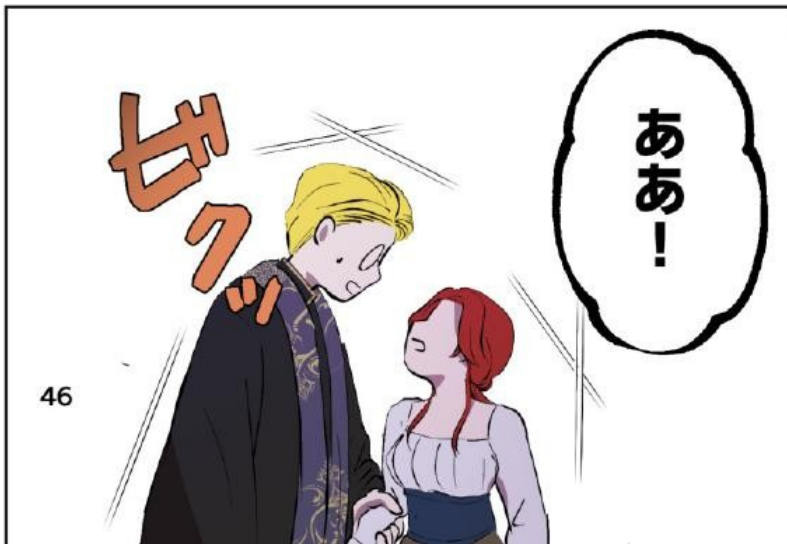
なんで  
勝手に！

すみません  
けれど一度  
私の話を聞いて  
頂けますか

話こと  
なんて別に

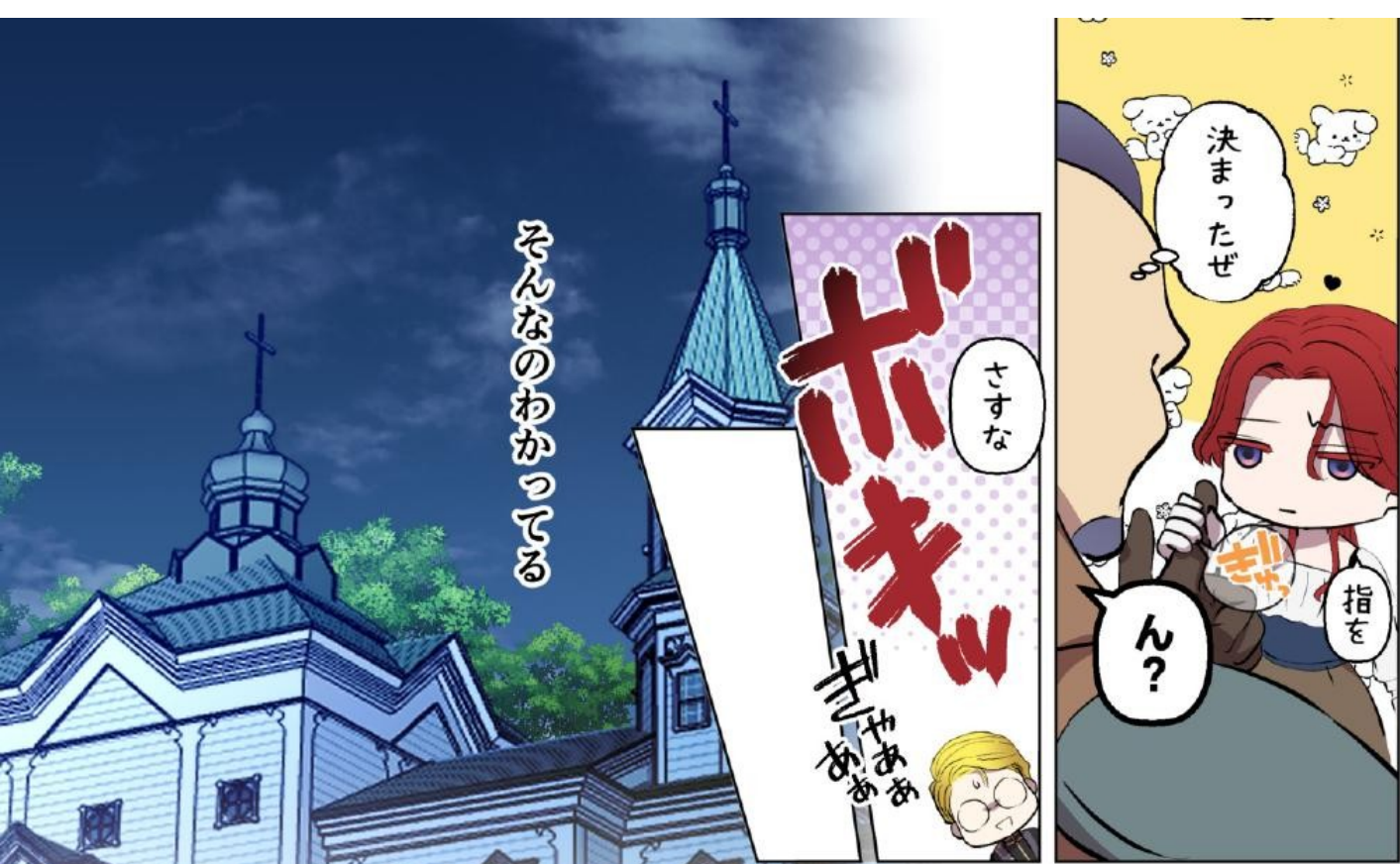
んん？

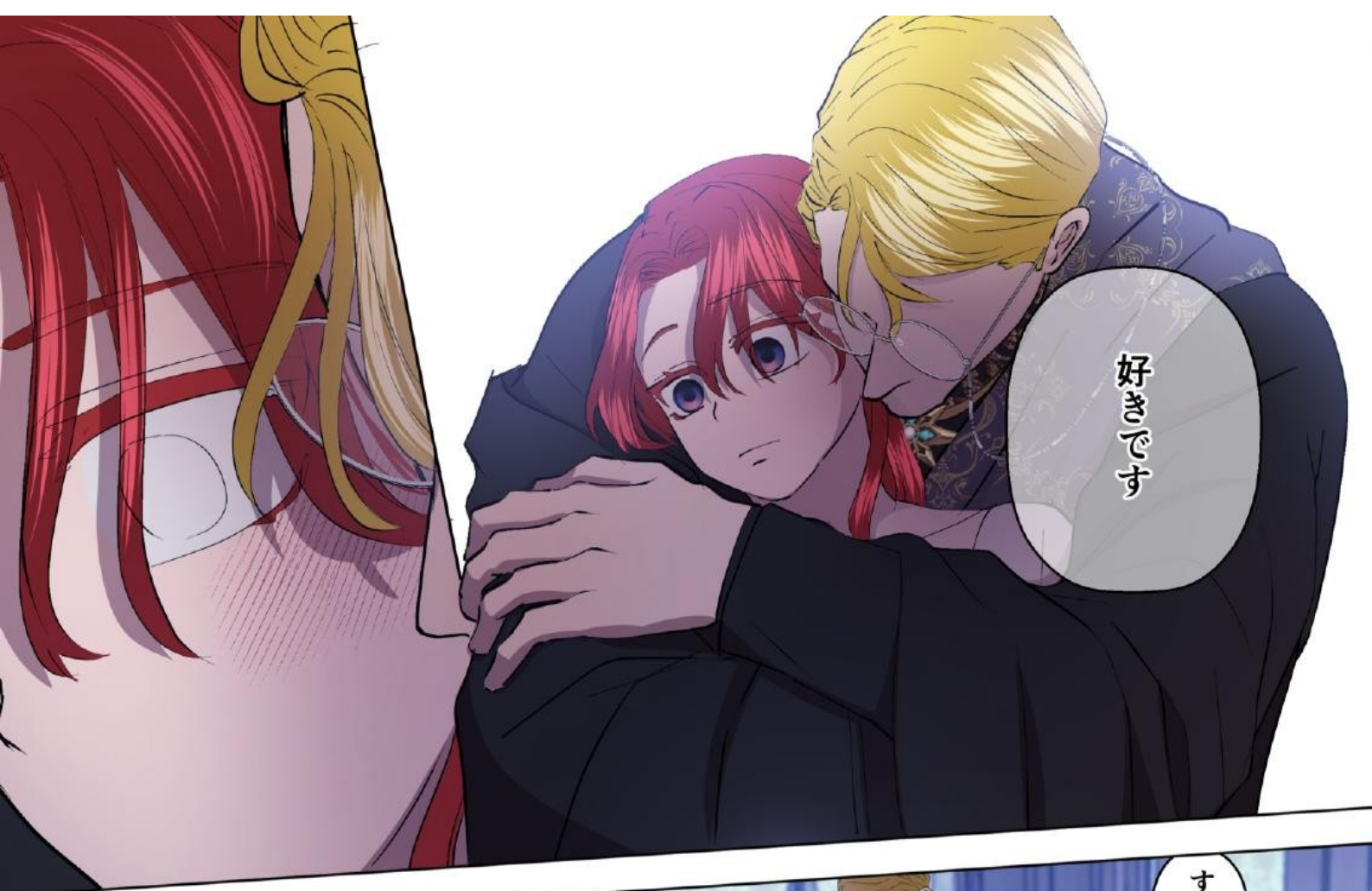
ん？



ああ！







好きです



それが  
貴方ですよ

ロゼッタ

—え?



すみません

本当はもっと  
時間をかけて...

ちょっと

ちょっと  
待って下さい!



神父様は  
初恋の相手を探してるんですよね!?

それなのに  
私が好きだ  
なんて!

からかうのも  
いい加減に!



幼い頃に  
一度だけ

私たちは  
会っている  
んです



それとも  
教会の管理人？  
大丈夫ですよ  
神父様なら  
すぐ誰か他の

容姿も  
年齢も  
性格も

その時から私は  
貴方を――

あ、もしかして  
飯炊き要因が  
いなくなるのを  
心配してる  
んですか？

そっ  
それこそ  
変な話  
ですよ！

あの頃から  
わたしは



誰かに好かれる  
要素なんて  
何一つ…

…そんなに  
私の言葉が  
信用でき  
ませんか？



え…？



仕方あり  
ませんね

ち、ちが…

この方法は  
使いたくなかった  
んですが…

できれば

か…

この薬の効果は

なんで…

君が一番  
知っている  
はずですね

ロゼ



神父様が

媚薬それを

待つ…

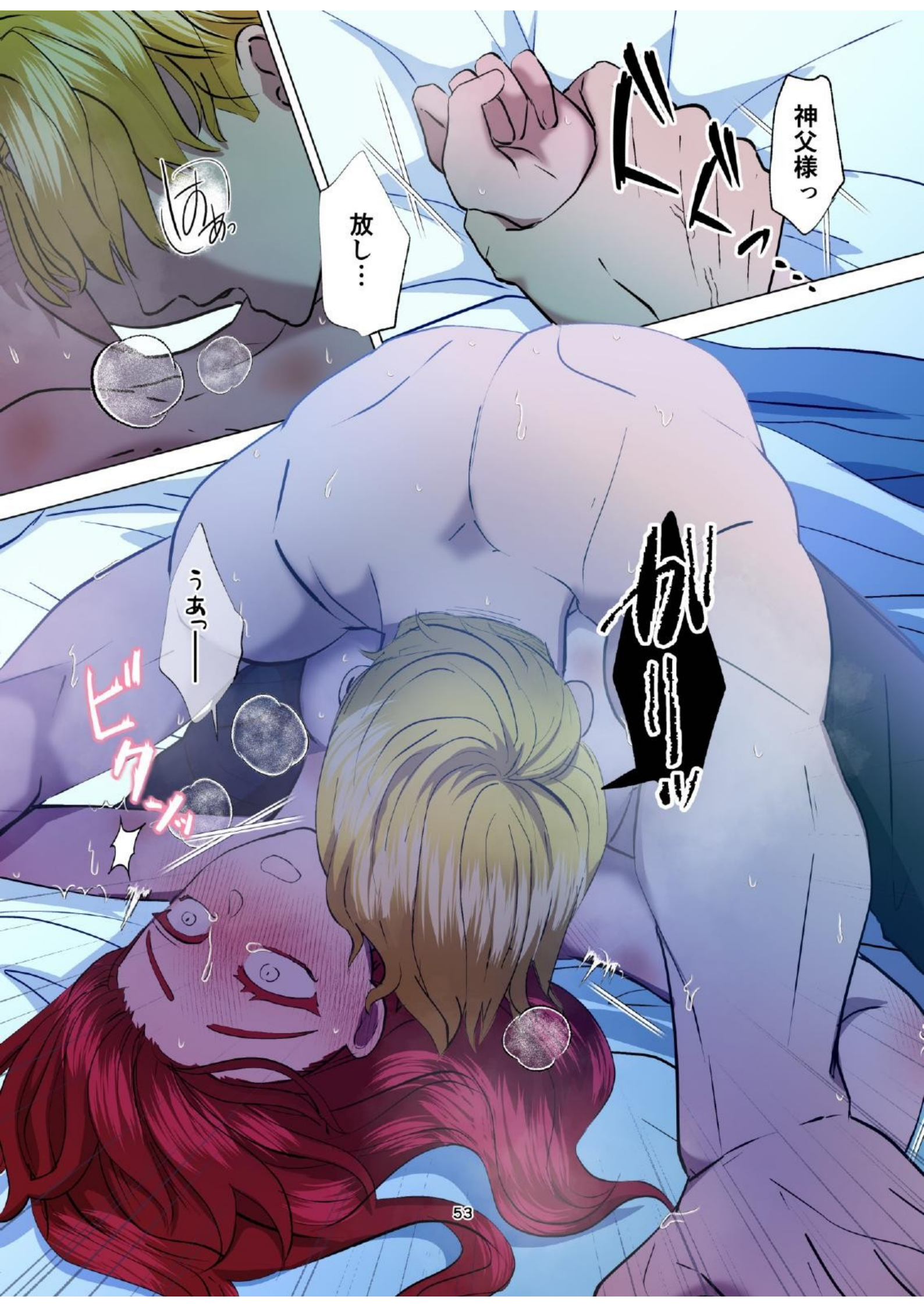
わん

は…

は…

が

が



神父様っ

放し...

うあー

ピタッ



あーっ  
あーっ  
あーっ

はずなのにつ

あーっ



あーっ  
あーっ  
あーっ

怖い

身体中  
噛まれて



あーっ  
あーっ

動けない



あーっ  
あーっ

あーっ

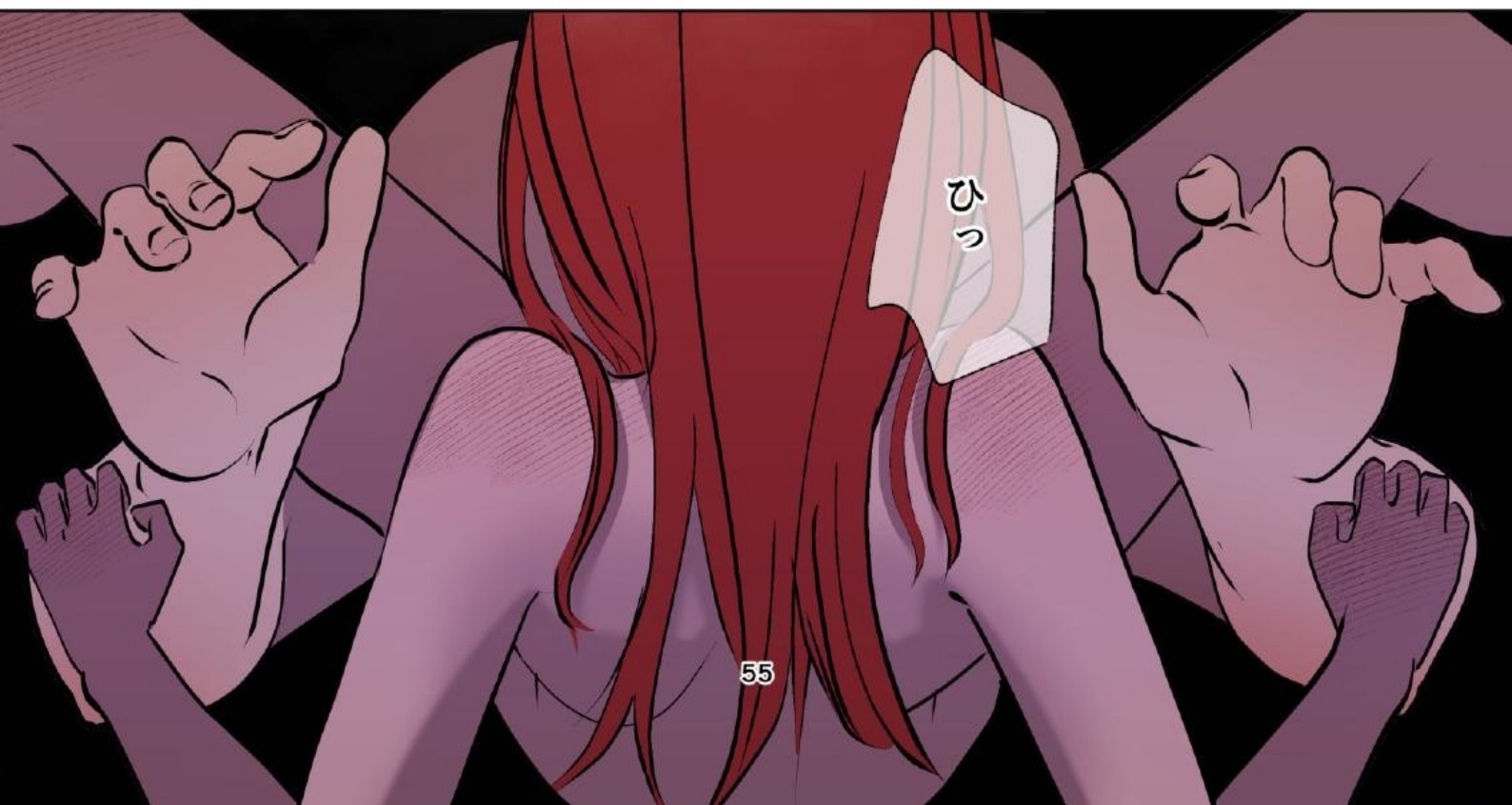
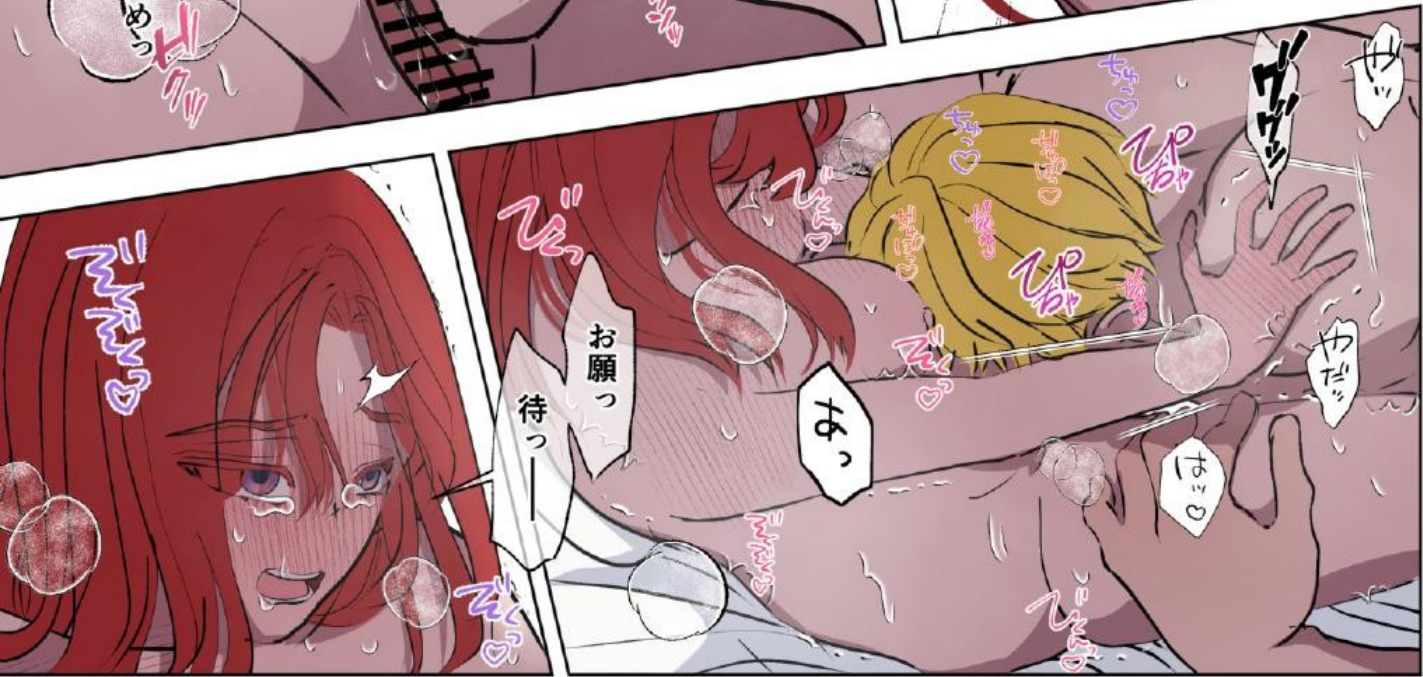
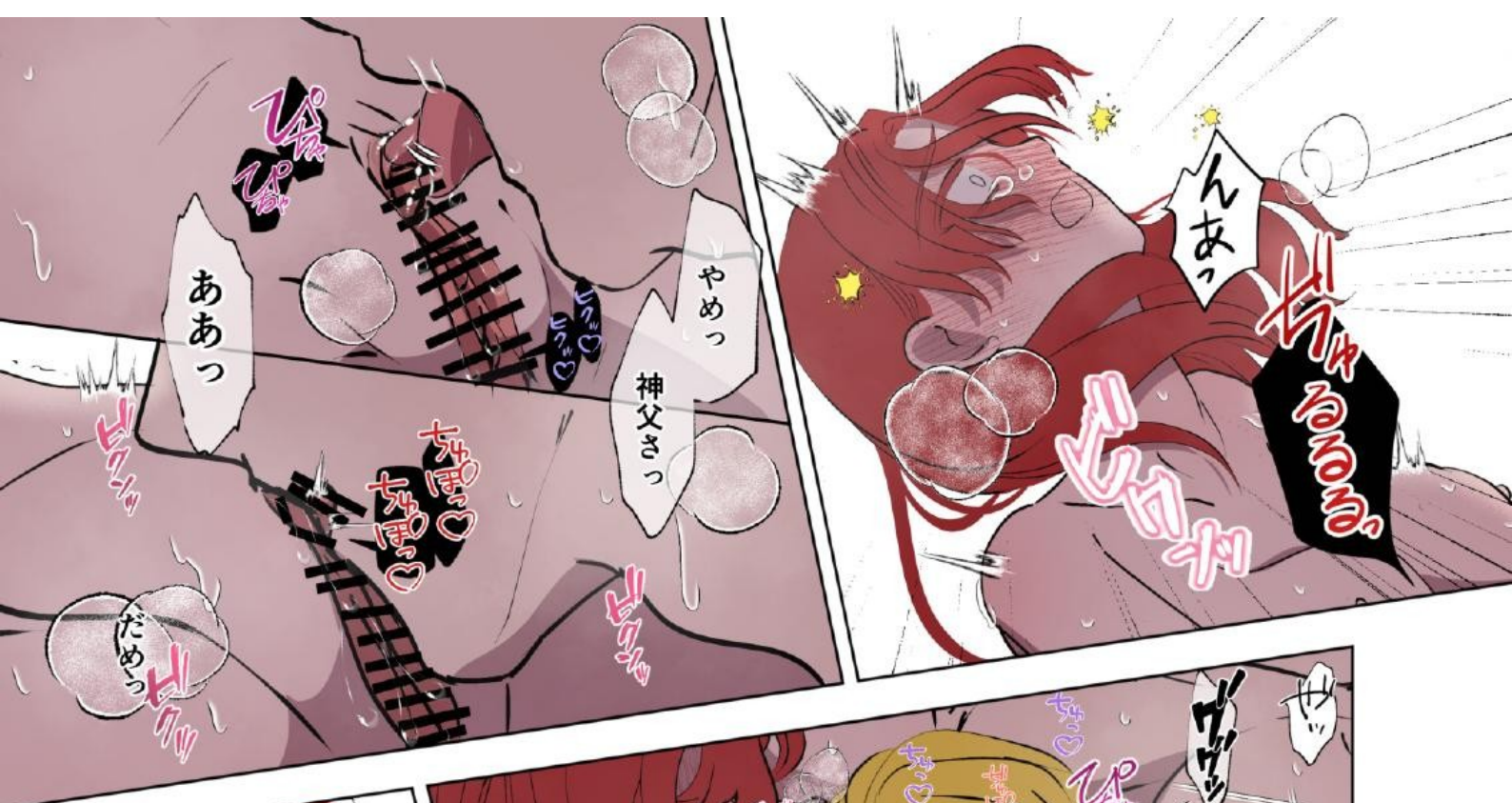
なんで  
わたし…

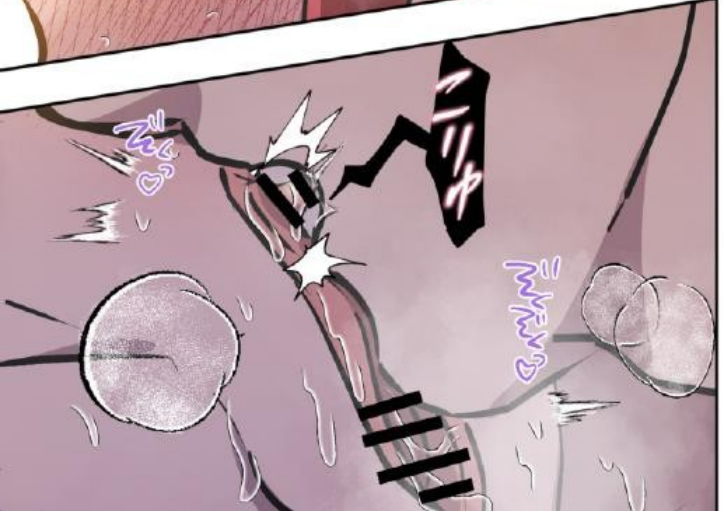
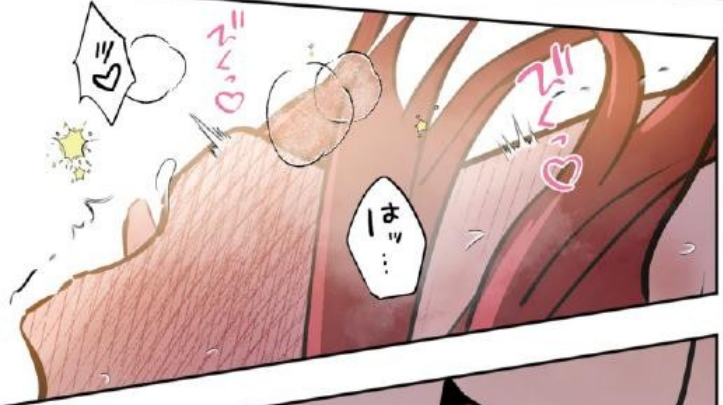
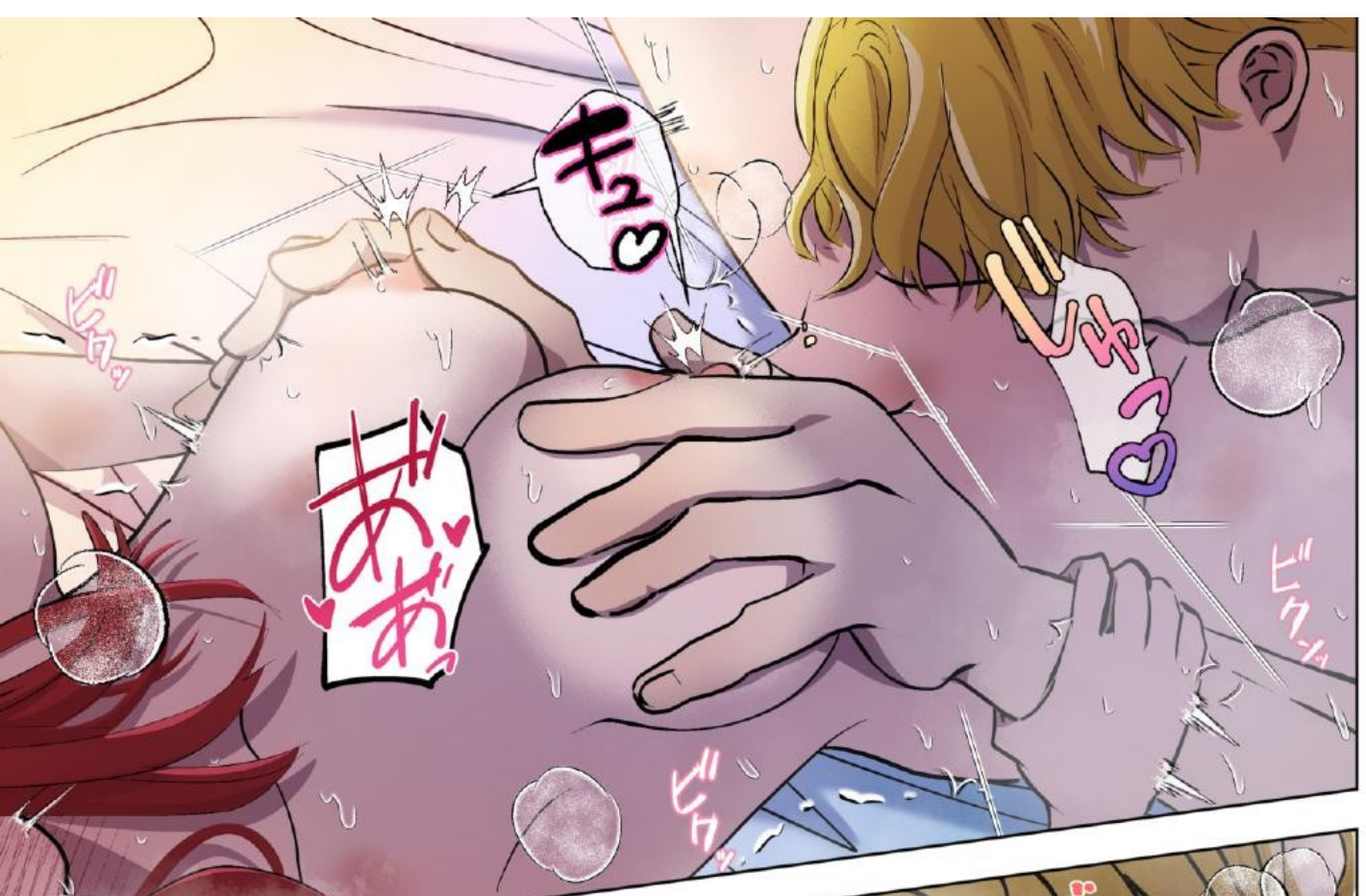
あ

あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

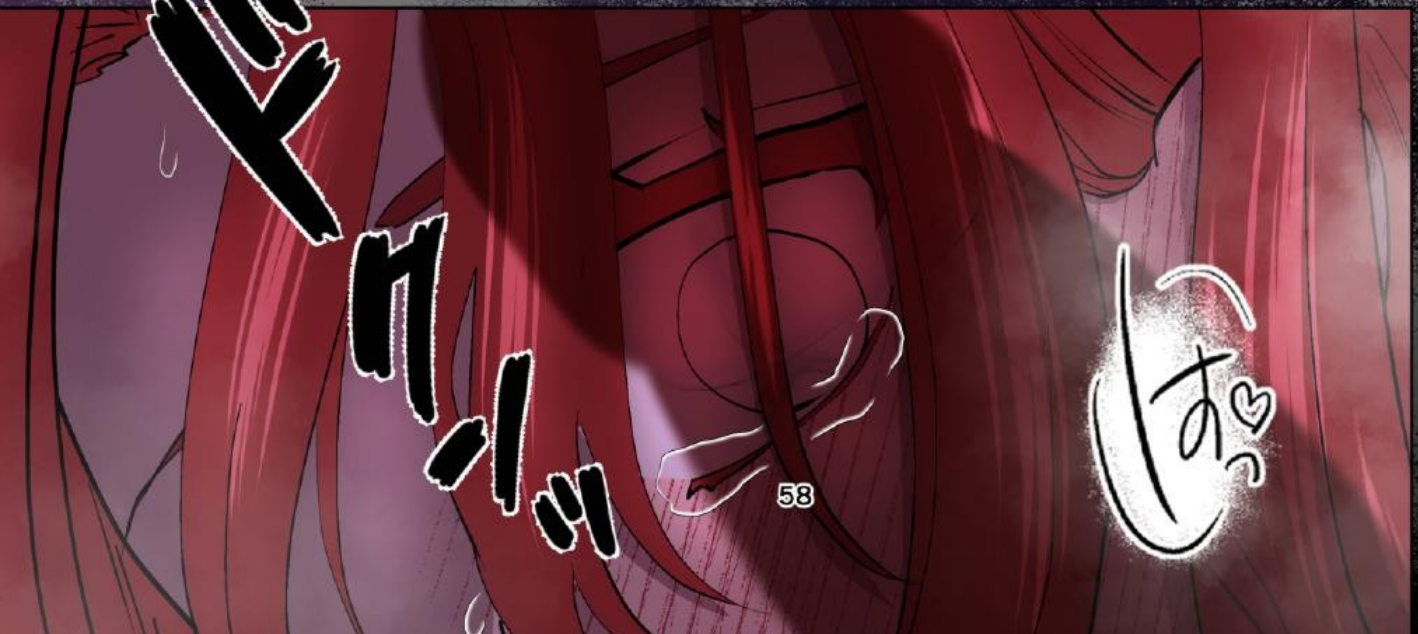
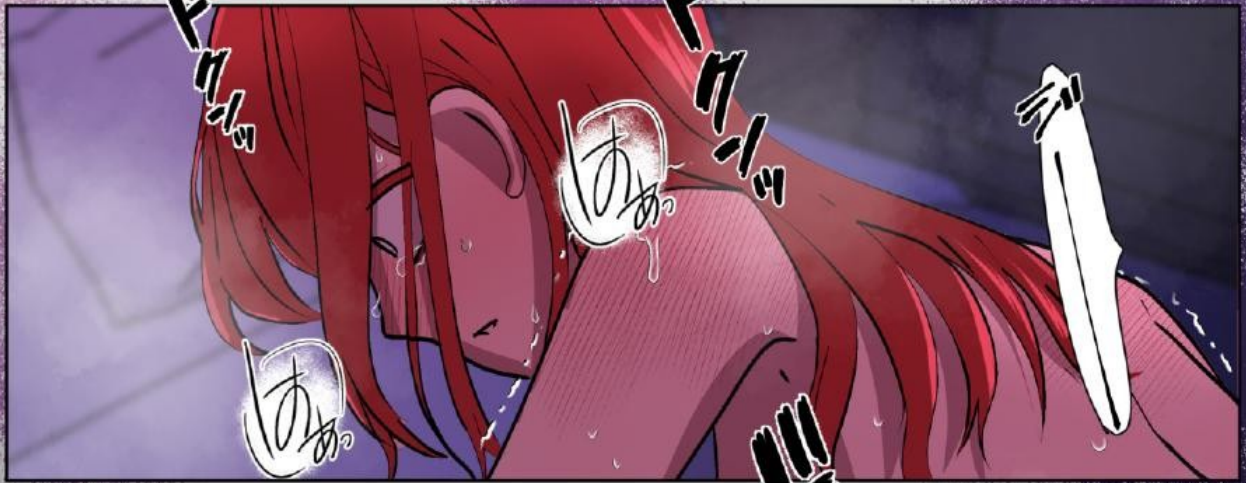
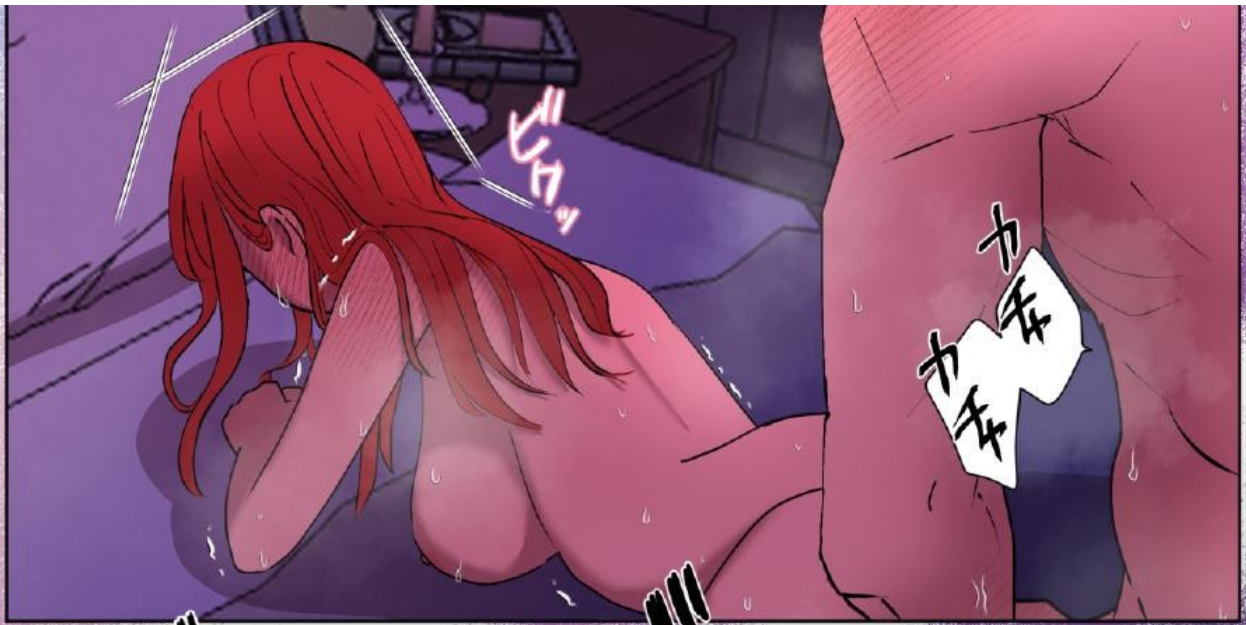
嘘ッ

見られ—











たー

たー

たー

たー

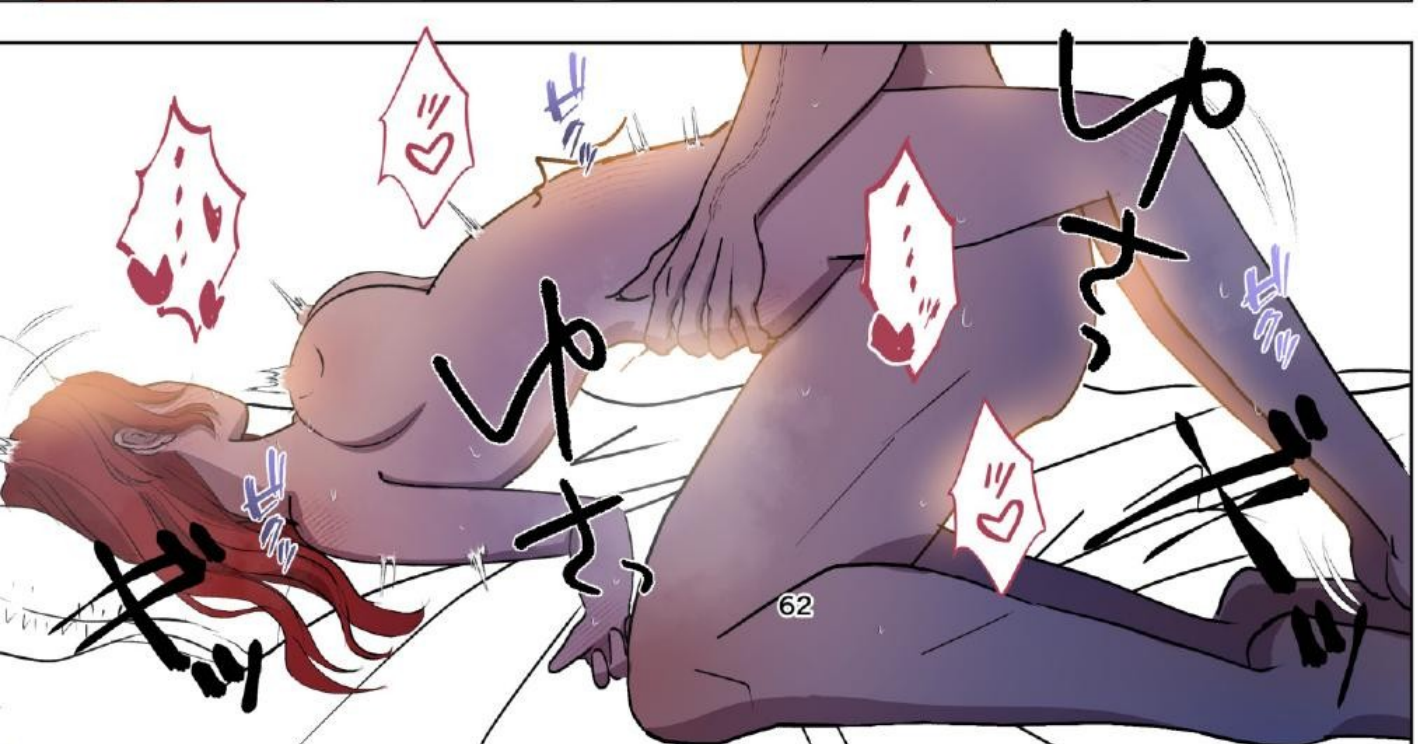
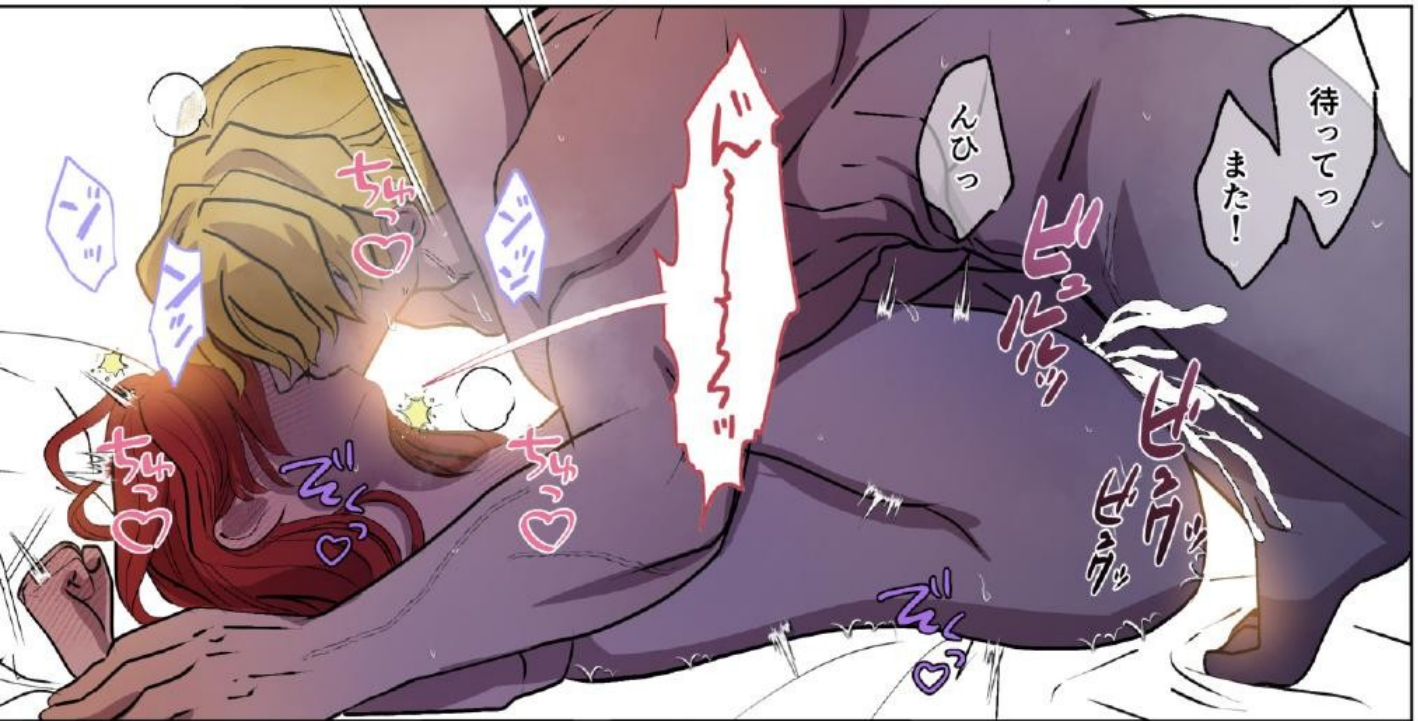
たー

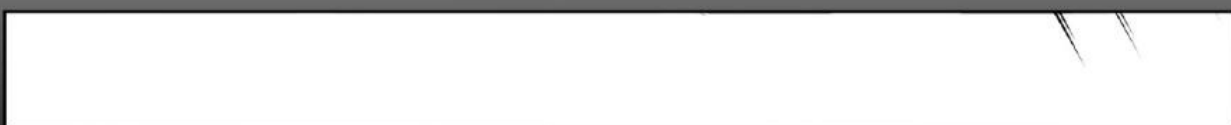
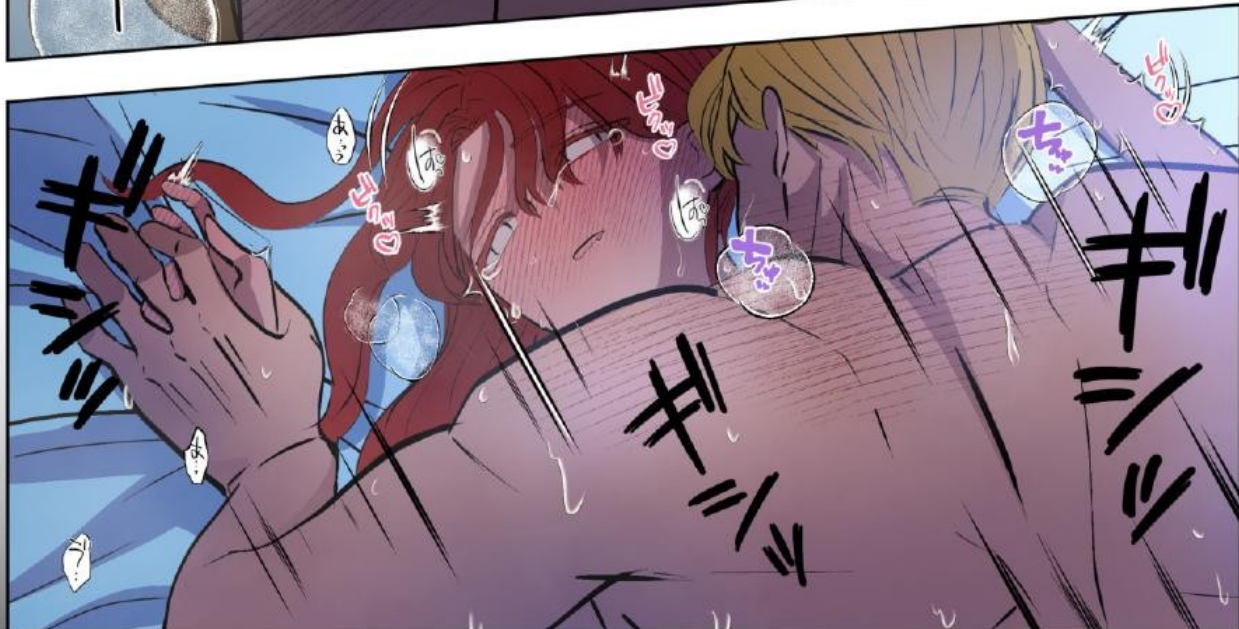
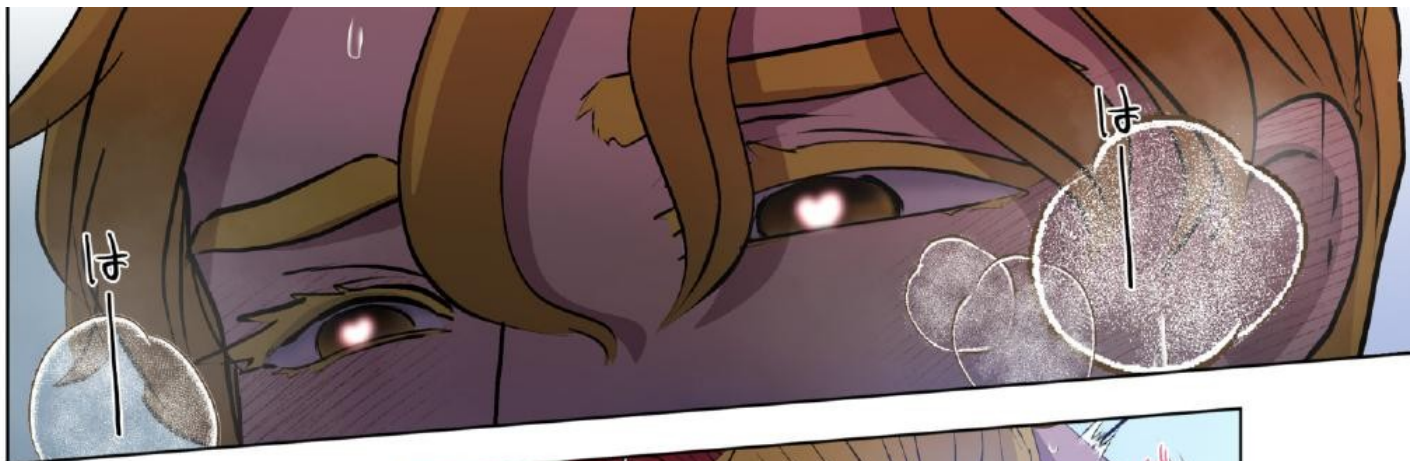
壞

女

子



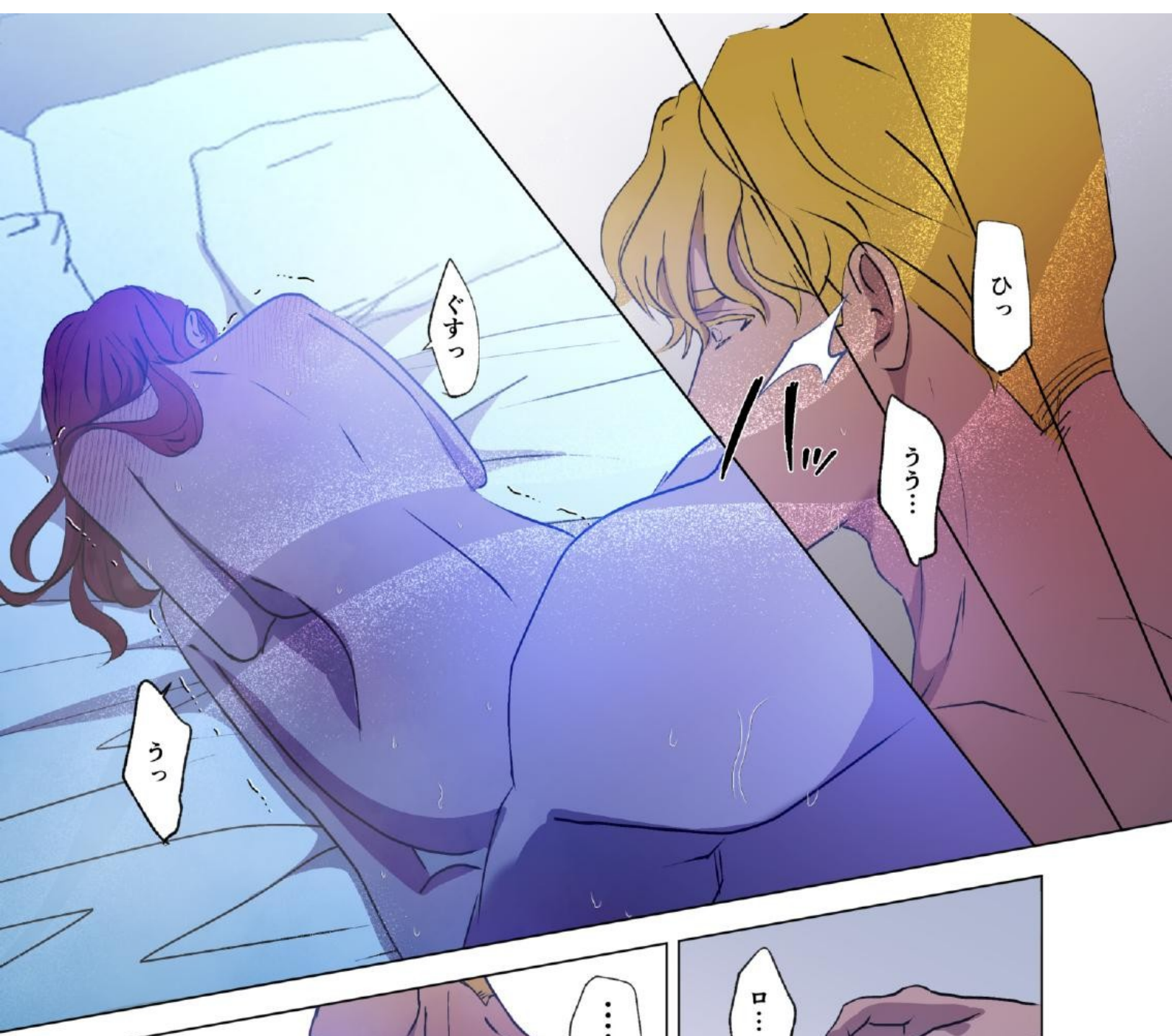


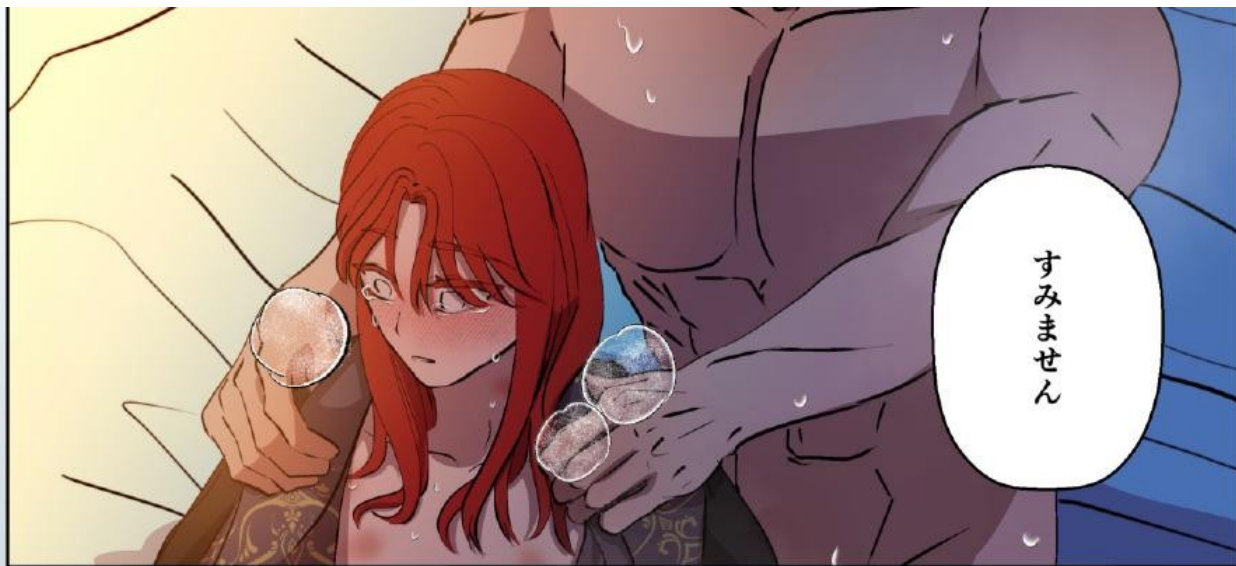


こんな所で  
いったい……

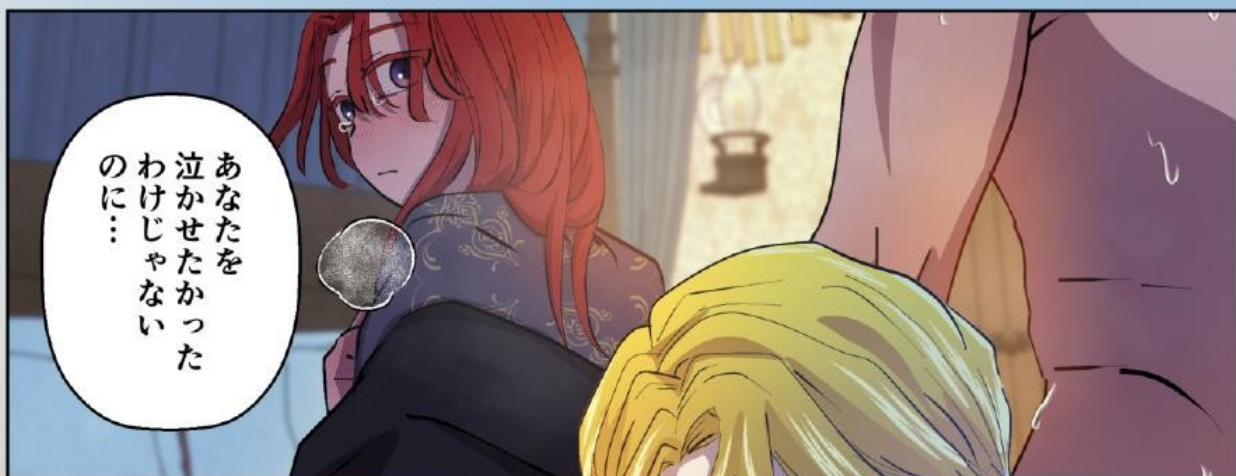




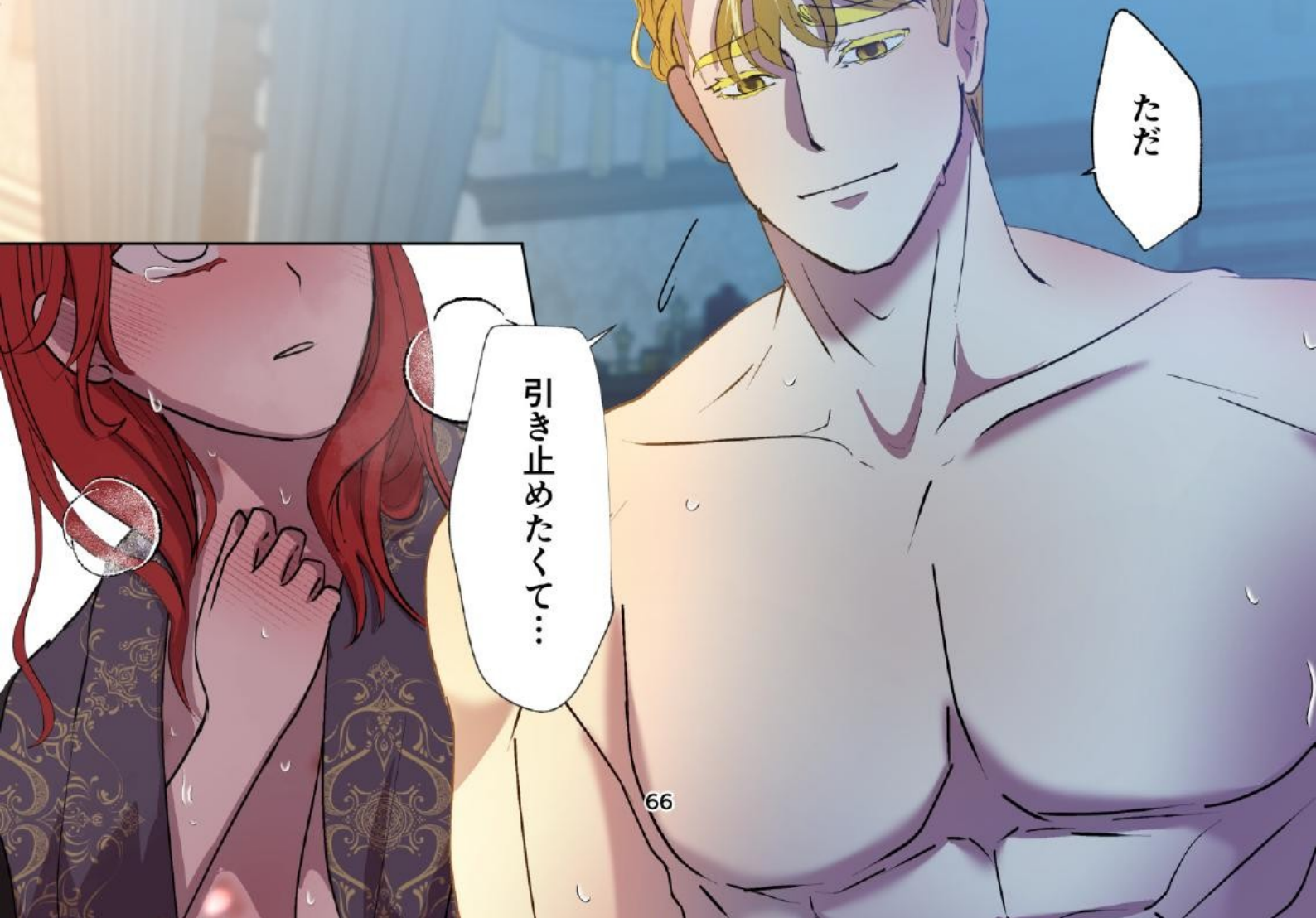




すみません



あなたを  
泣かせたかった  
わけじゃない  
のに…



ただ

引き止めたくて…



この村を出る  
なんて一言も  
言っていない

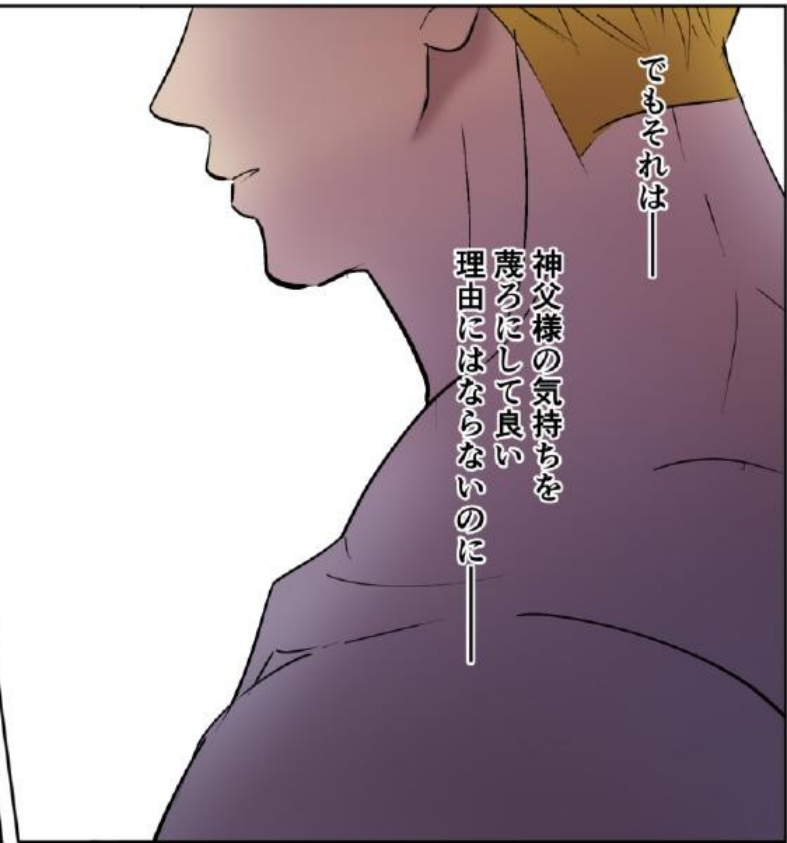


私は！

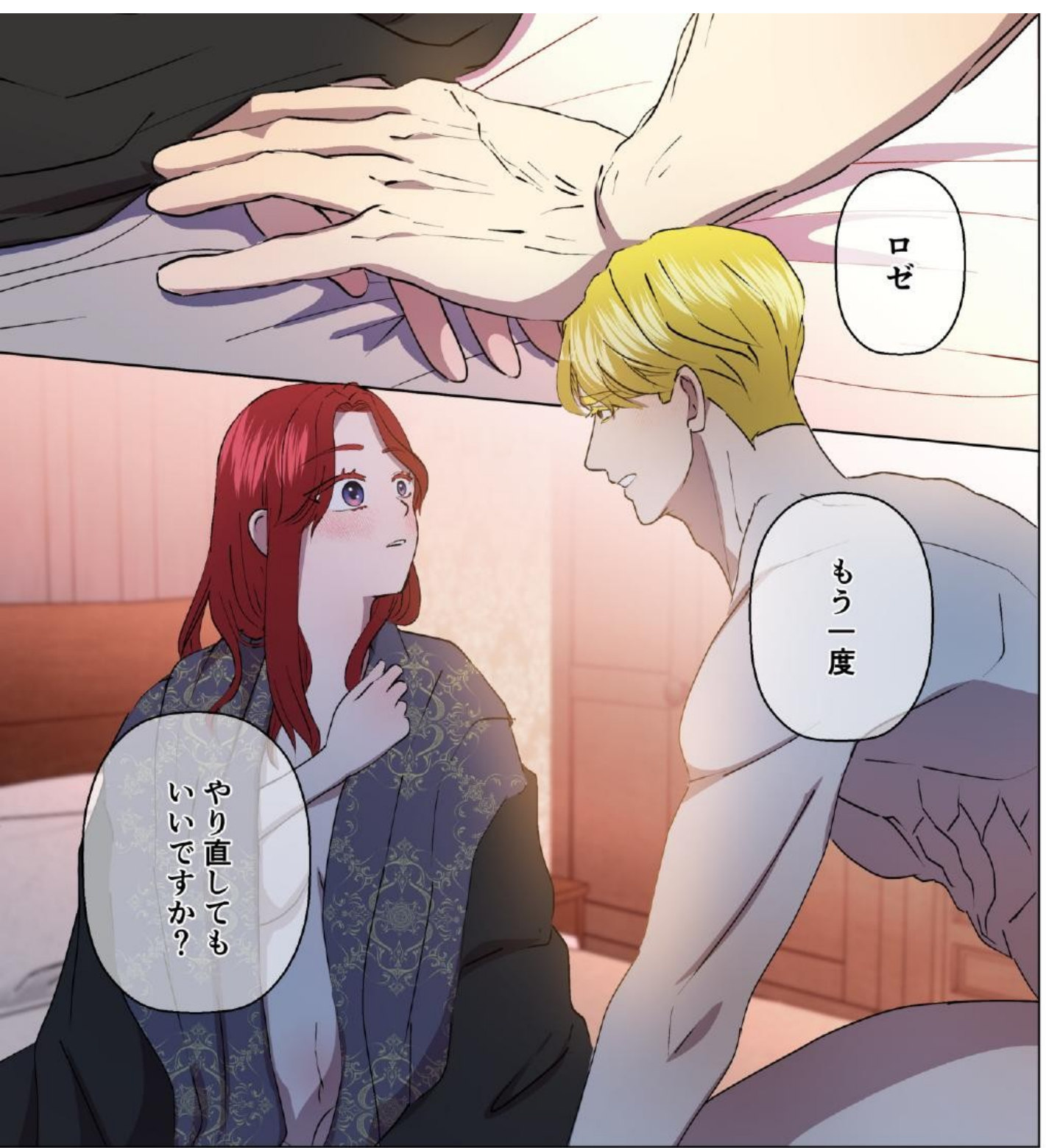


怖くて…っ

—ただッ



でもそれは—  
神父様の気持ちを  
蔑ろにして良い  
理由にはならないのに—







痛みを感じたら  
教えてくださいね

は…

んんっ

あっ  
入っちゃっ

ガッガッ

ふっ♡

ふっ♡

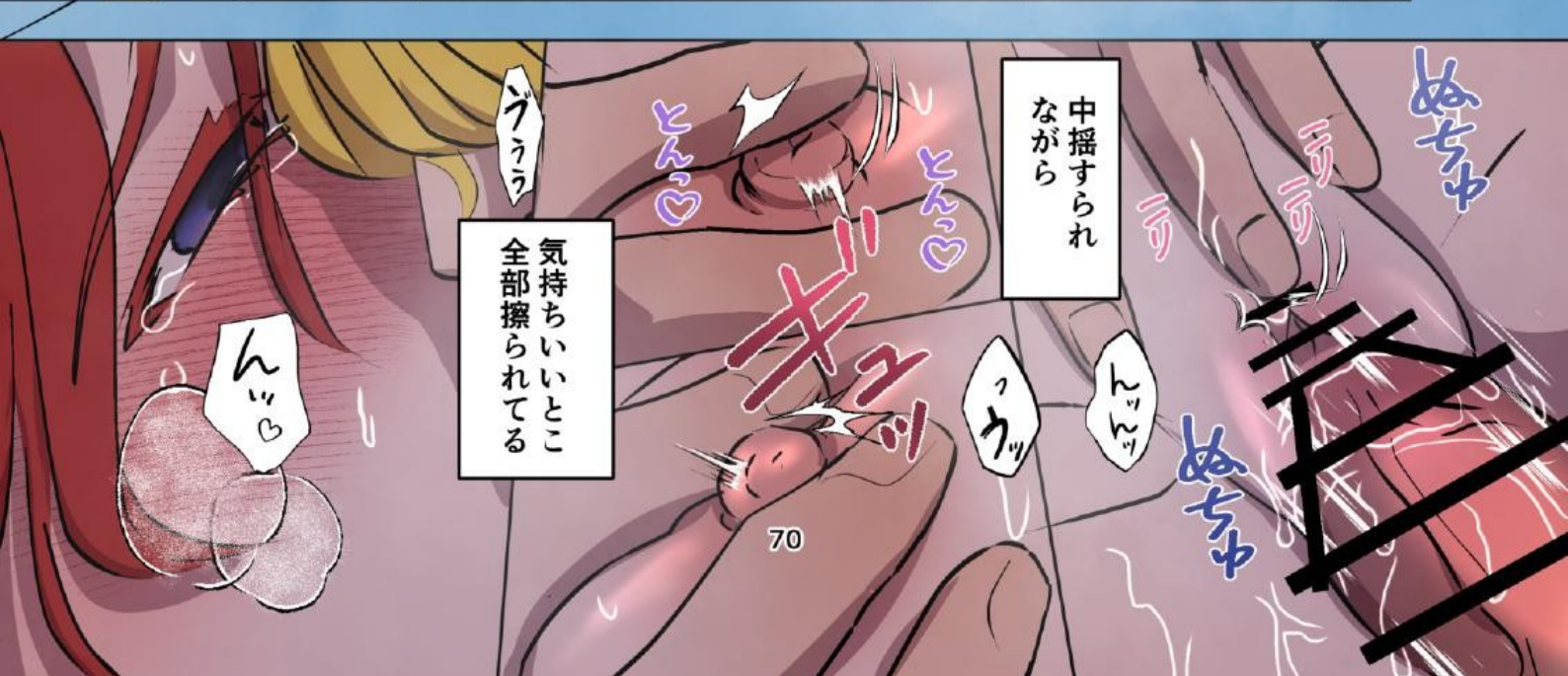


なにっ  
これ…

ふっ♡

ふっ♡

あっ



中揺すられ  
ながら

気持ちいいところ  
全部擦られてる

ぬちゅ

ぬちゅ

とん♡

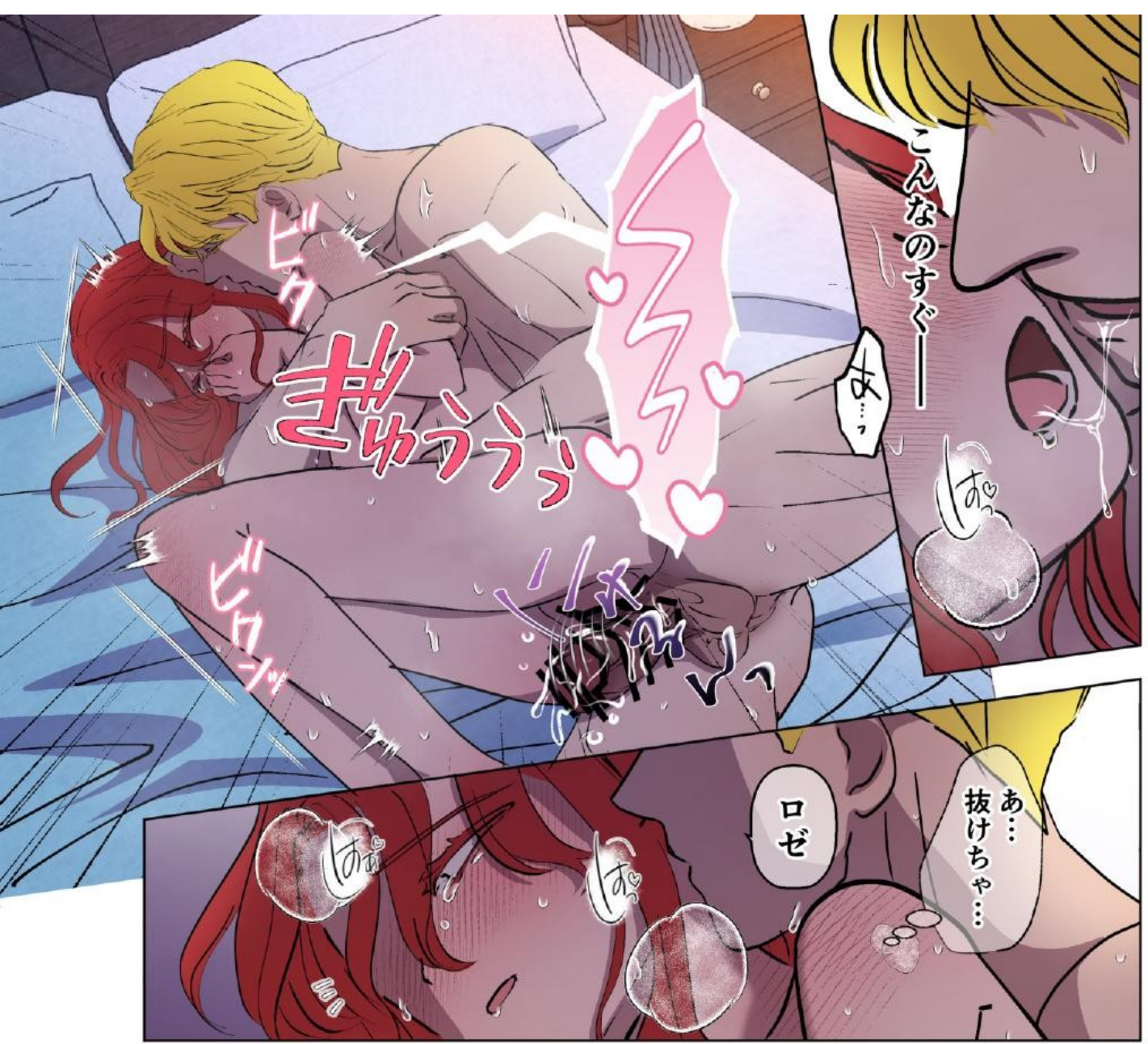
とん♡

グうう

ん♡

っ♡

ふっ♡



神父様は？

うん？

あのっ

少しだけなら

激しくても

大丈夫です

さっきみたいに

あ、いや！  
そういう趣味が  
あるとかじゃなくて

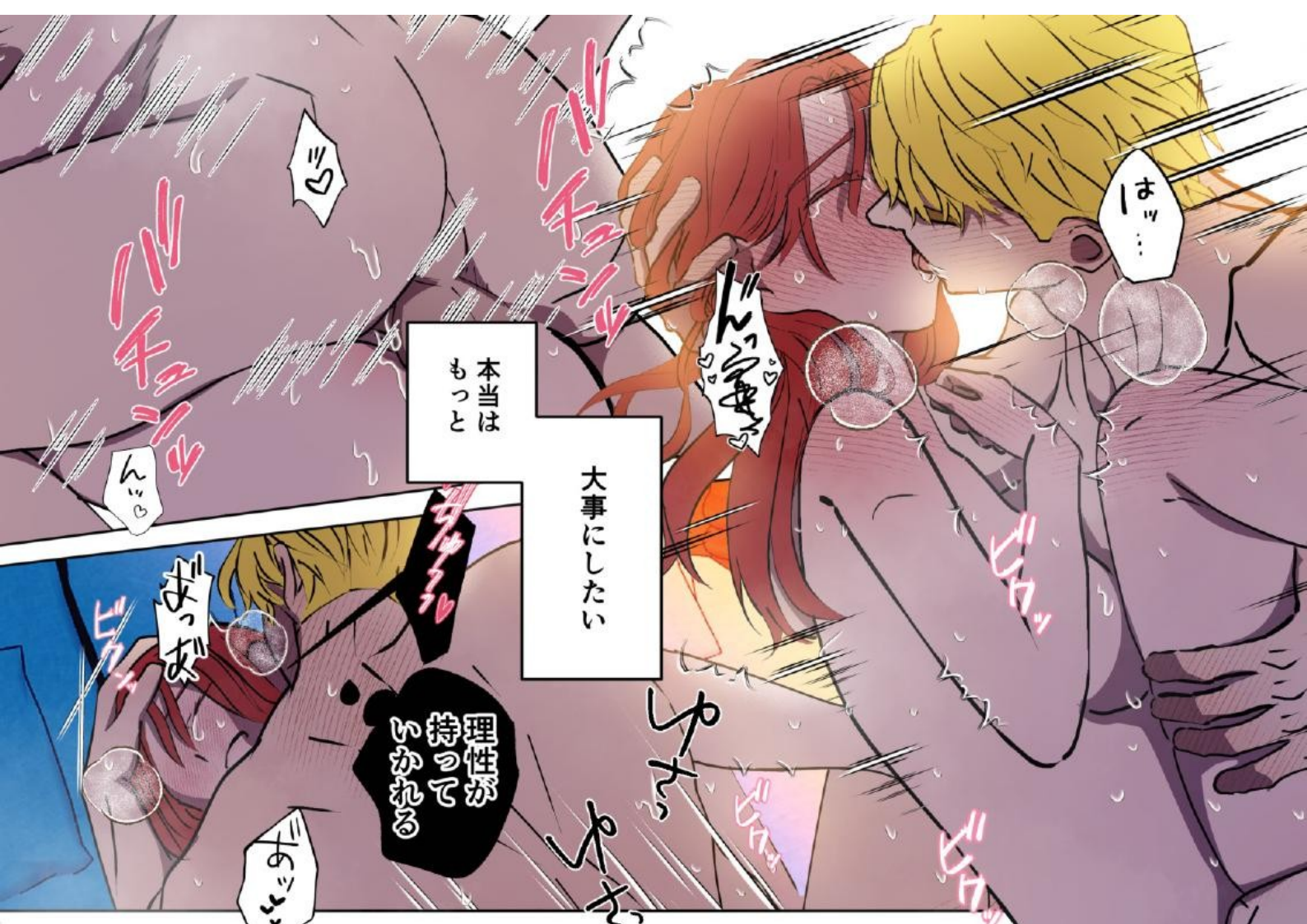
神父様が  
お辛そうだし

それに私

体は強い方  
なので

だから  
その：





本当は  
もっと

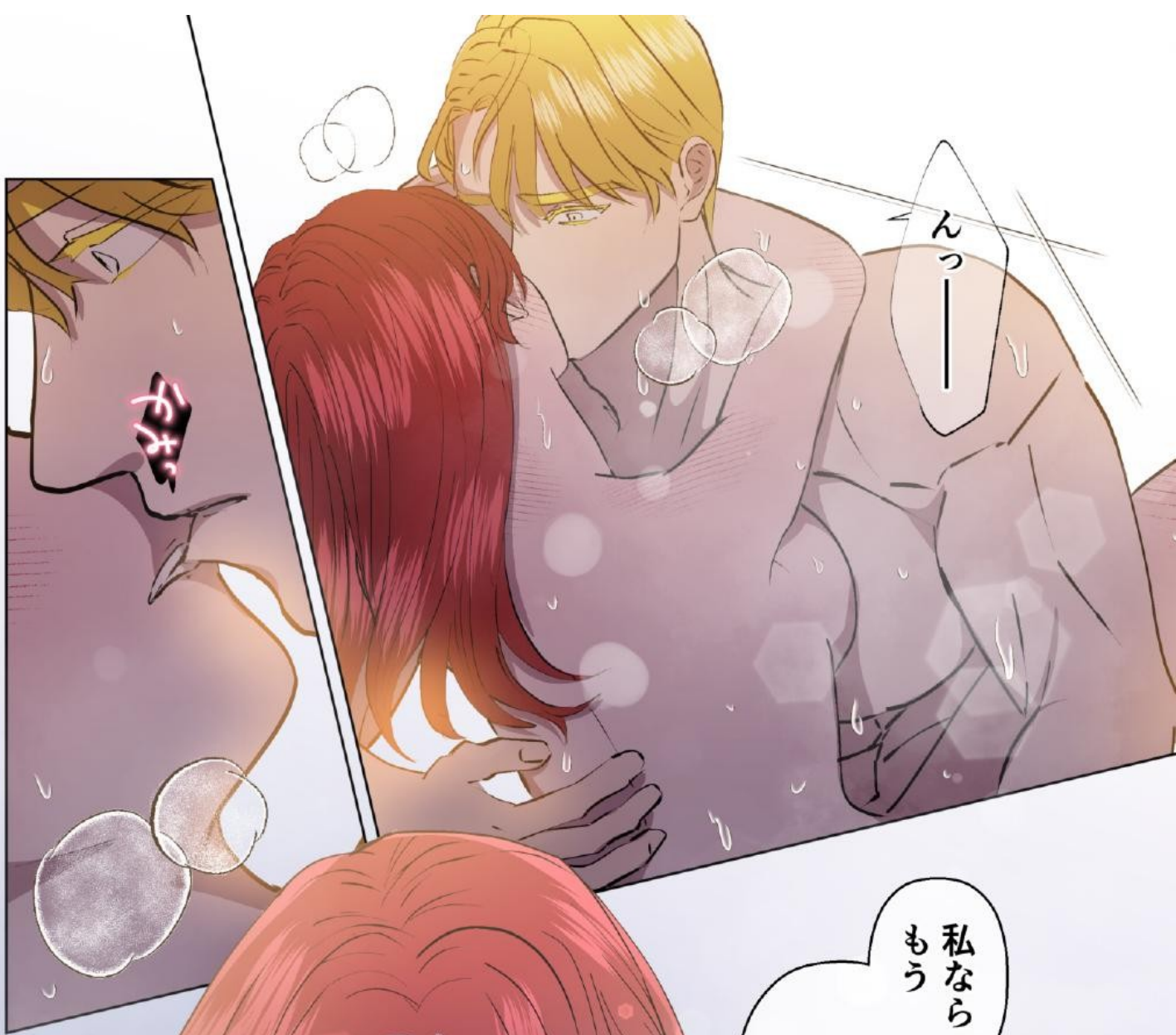
大事にしたい

理性が  
持って  
いかれる

これ以上  
怖がられたくない

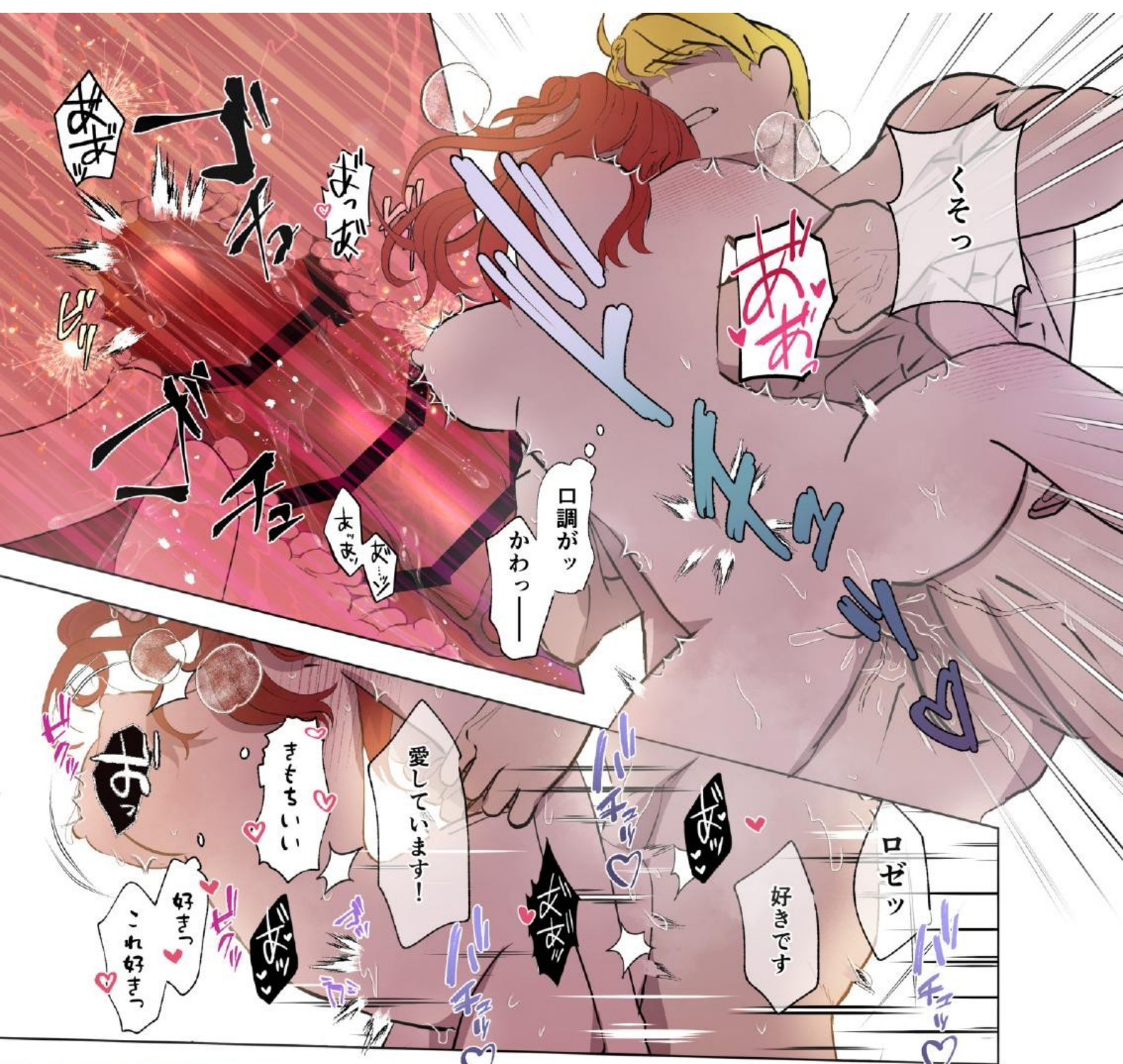
だめだっ  
堪える

傷つ  
けたく  
ない  
のに...



んっ

私なら  
もう  
大丈夫  
ですから



くそっ

口調がッ  
かわっー

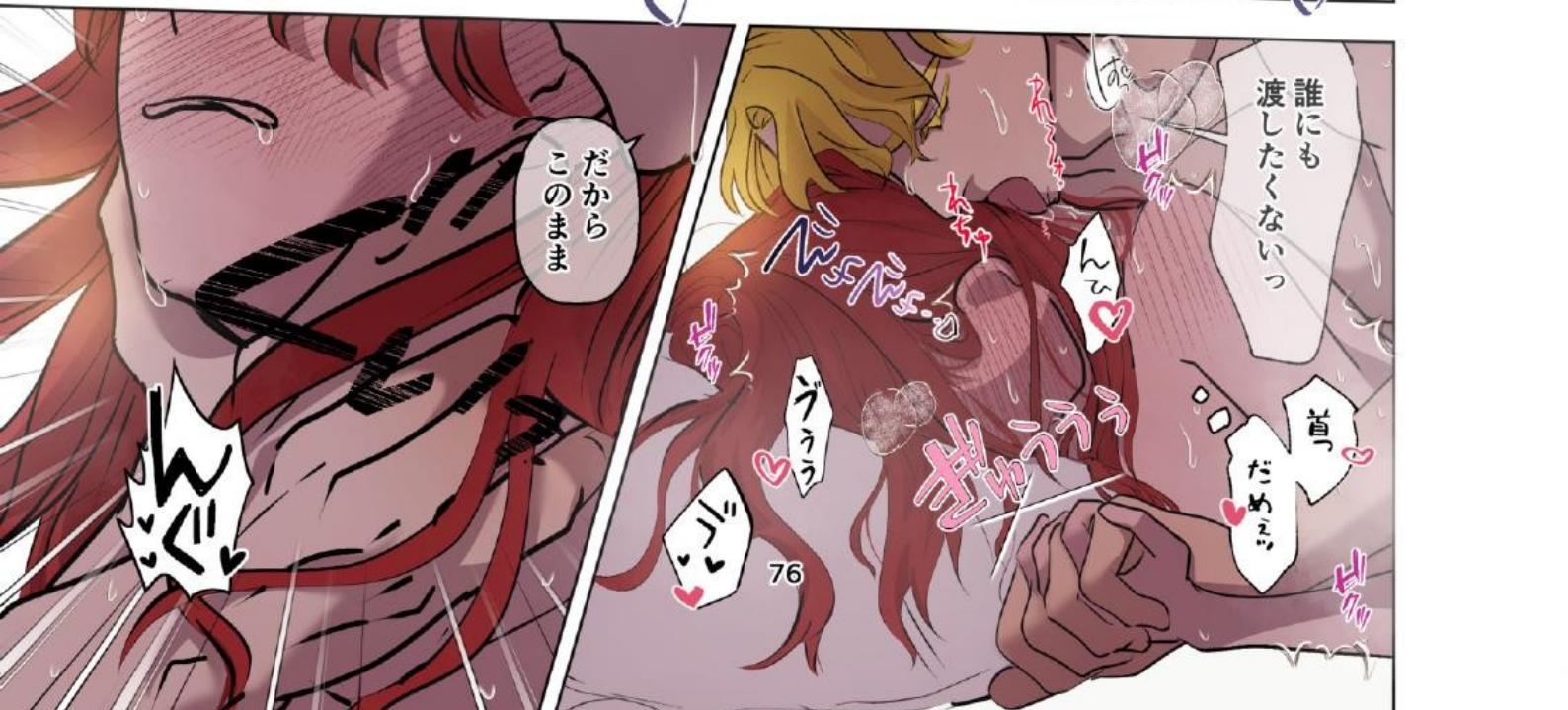
好きです

ロゼツ

愛しています!

まきまき

好き!  
これ好き!



だから  
このまま

誰にも  
渡したくないっ

だめさ



あ

私の子を  
孕んで

これ…

あっ

まっ



だめ…

きん

きん

きん



*Ma douce petite rose.*

びん



びん

あっ

びん







いますぐ  
連れ帰りたいって  
顔に書いて  
ありますよ

俺まだ何も  
言っていない  
だけど…

なっ…



あなたと  
彼女とは  
身分が  
違いすぎます

シスター



確かに  
坊ちゃんと  
一緒に行けば

今より  
いい暮らしが  
できるでしょう

でもその先は？

私はこれ以上  
彼女に傷ついて  
欲しくないのです



私が  
この世を  
去った時

坊ちゃんが  
まだ彼女を  
想っていて

彼女が  
ひとりぼっち  
だったなら

その時は



…じゃあ  
どうすれば  
いいの？

そうですねえ…

迎えにきて  
くれますか





# ～キャラ相関図～



ロゼッタ(25前後)  
村の教会で育った孤児。  
実は料理スキルはイマイチ。  
(神父様は愛情で食べている)



ノア・ヴァレンタイン(30前後)  
教会の偉い人の息子。  
子供時代は不真面目不勉強だったが  
ロゼッタに一目惚れ後改心。

←→  
恋仲

兄妹認識

顔見知り

古くからの知り合い。  
ロゼッタの近況を  
毎年手紙でやりとり  
していた。



うち一人と  
恋仲に



ドゴ(25前後)  
ロゼと同じく教会で育った  
孤児。一度里親に引き取らた  
のち、成人して放浪中。  
彼を描く前に私は北斗○拳を  
読みました(完全に影響された。)



シスター

シスター  
ロゼの育ての親。  
実は教会の中では名の知れた  
人だったり…?

村に住む16歳の娘たち。  
そう、彼女たちはまだ子供  
なんです…。右から順に  
ピオーネ・オーブ  
マリーゴールドともう一人は  
せっかく決めた名前を失念。。

# 嫁き遅れ村娘は神父様の 溺愛から逃げられない

3作目です。  
当初の予定では、神父様はもう少し大人の余裕がある  
成熟メンズになるはずだったのですが…。  
気づいたらただの執着愛ぶつけマンになっていました。  
機会があれば、次こそは、熟成フェロモンでヒロインを  
じわじわと快樂攻めにする神父様を描きたいです。

この度は当作品をご購入頂きありがとうございました。  
もし、1mmでも気に入ったシーンがあれば、  
感想・レビュー・コメント等で共有してくれると嬉しいです。  
ではまた。

発行日：2024年1月7日  
発行：混萌NATION

＼選択式でカンタン／  
匿名感想フォーム



Googleフォームが  
開きます。

- この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などとは関係ありません。
- 本書を転載・転売することを禁止します。また、18歳未満の閲覧も禁止します。
- This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
- Do not repost. Do not resale. Adults only.



ドット加工したら目が潰れたドゴ

おっと忘れてた。  
神父様の最後の横文字は  
『僕の愛しい小さいバラ』って  
言ってます。(何語か忘れた)  
Chat GPTに吐いてもらった  
だけなので、間違ってたら  
教えてくれると嬉しいです。  
ではまた！